

平成29年度

八女市商工会管内における中小企業景況調査報告

八女市商工会

○はじめに

昨年に引き続き第2回目の景況調査を実施した。昨年の15社から36社まで調査対象事業者を拡大し小売業、サービス業、製造業、建設業の各業種の動向を分析することが可能となった。合わせて、福岡県下の中小企業の動向と比較することで八女市商工会管内の事業者の動向を検討していきたい。

○調査の実施概要

調査の対象	八女市商工会に所属する事業者の売上高・資金繰り・採算・設備投資 業況・問題点について
実施期間	平成29年8月～平成29年12月
有効サンプル数	36社 (小売業者 7社、サービス業者 13社、製造業者 6社、 建設業者 10社)
分析・集計	職員によるアンケートの実施と回収を行い、中小企業診断士に集計と 分析から報告書の形までのとりまとめを依頼した

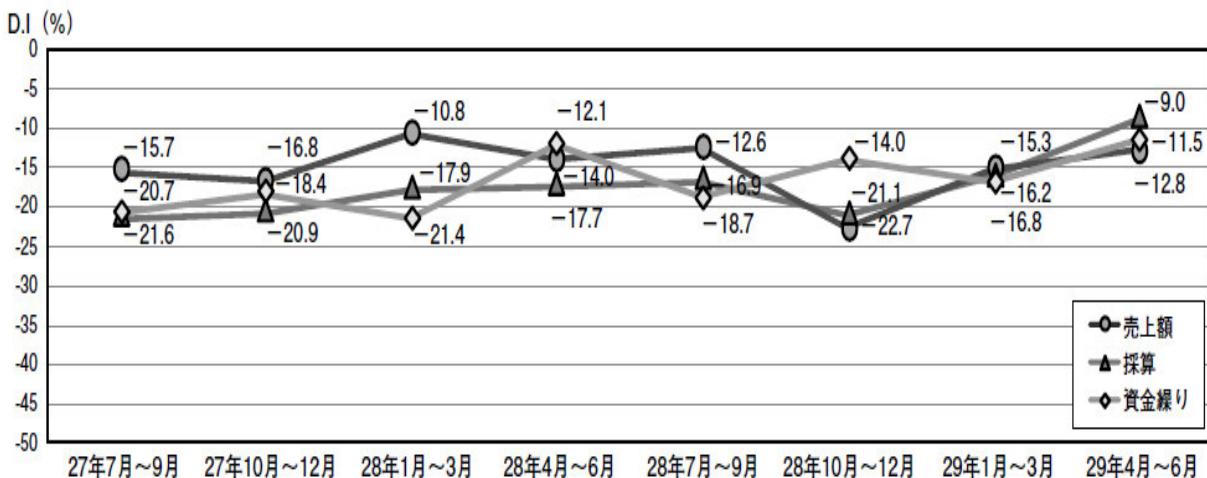
○報告書の主な内容

1. 全体の動向について 1 項
2. 製造業の動向について 4 項
3. 建設業の動向について 10 項
4. 小売業の動向について 16 項
5. サービス業について 22 項

全体

1. 主要景況項目の全体における動向

○福岡県下の商工会管内におけるD.I値の推移

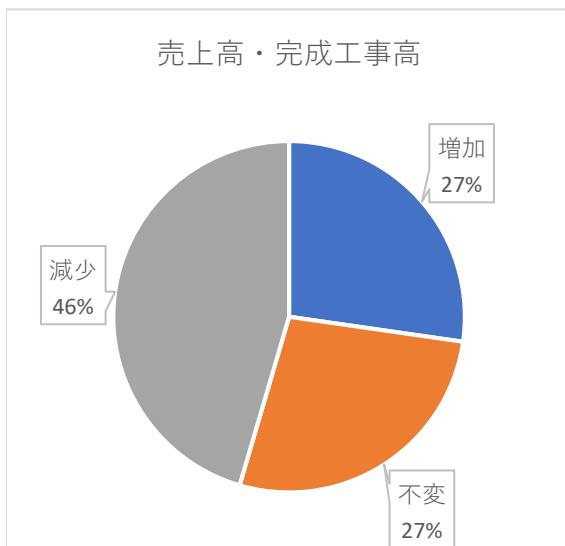


福岡県下における商工会管内全体の4月～6月期におけるD.I値は、前年同期比で売上高はやや改善し、採算も改善、資金繰りもやや改善し、全てのD.I値で改善傾向を示している。

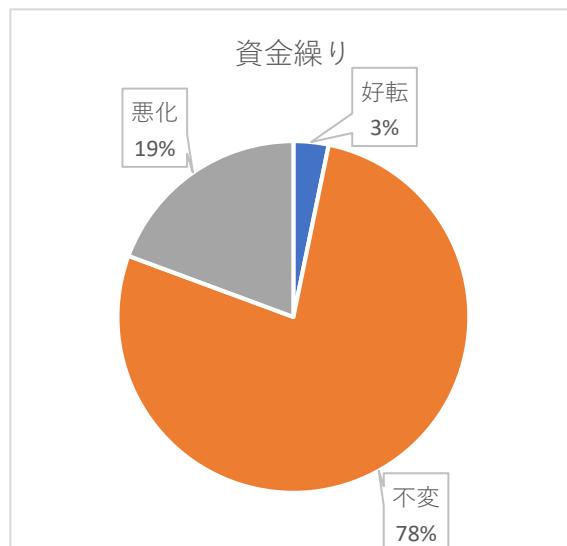
前期比でも同様に全てのD.I値において改善傾向を占めている。

売上高と採算は3期継続して改善傾向を示しており資金繰りは改善と悪化を四半期毎に繰り返している傾向が見られる。

○八女市商工会（全体）H29年1月～6月の状況（前期比）



八女市商工会管内の売上高・完成工事高の前期比は増加より減少が19ポイント上回り全体では悪化の傾向を示している。

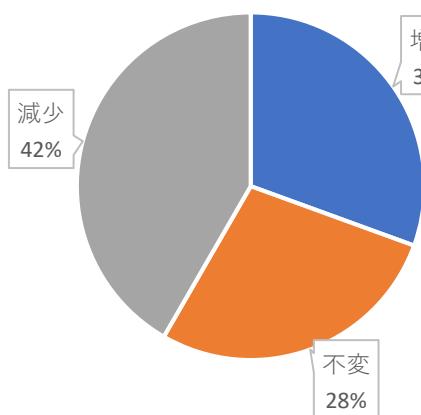


八女市商工会管内全体の資金繰りの前期比は好転より悪化が16ポイント上回っており全体として悪化の傾向を示している。

全体

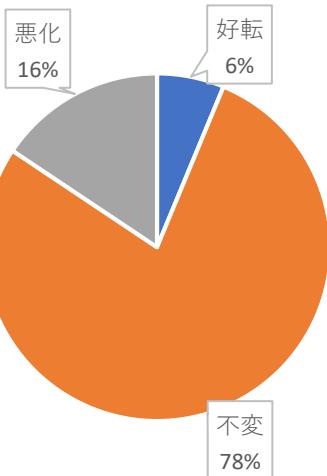
○八女市商工会（全体）H29年1月～6月の状況（前年同期比）

売上高・完工工事高



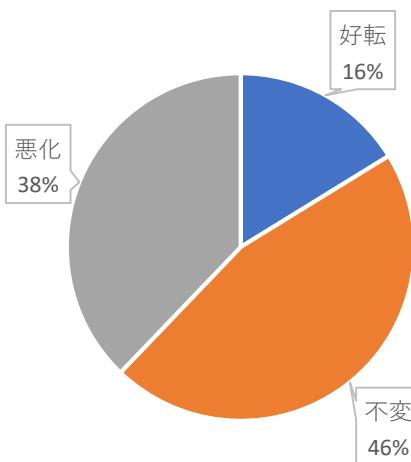
八女市商工会管内の売上高・完工工事高の前年同期比は増加より減少が12ポイント上回り全体では悪化の傾向を示している。

資金繰り



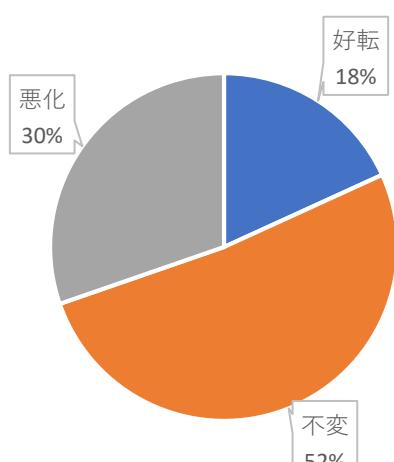
八女市商工会管内全体の資金繰りの前年同期比は好転より悪化が10ポイント上回り全体として悪化の傾向を示している。

採算



八女市商工会管内全体の採算の前年同期比は好転より悪化が22ポイント上回っており全体として悪化の傾向を示している。

業況

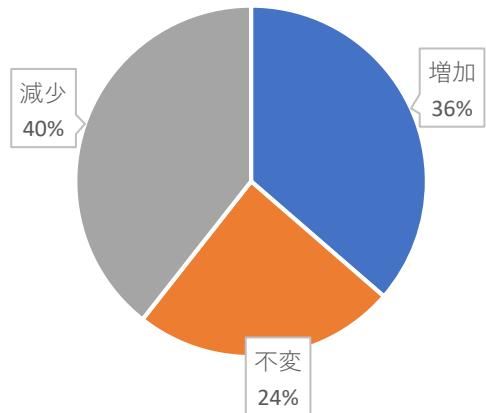


八女市商工会管内全体の業況の前年同期比は好転より悪化が12ポイント上回っており全体として悪化の傾向を示している。

全体

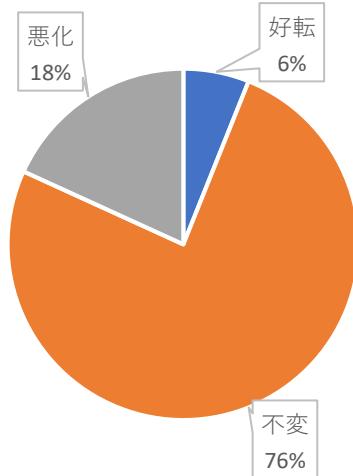
○八女市商工会（全体）の来期の見通し

売上高・完工工事高



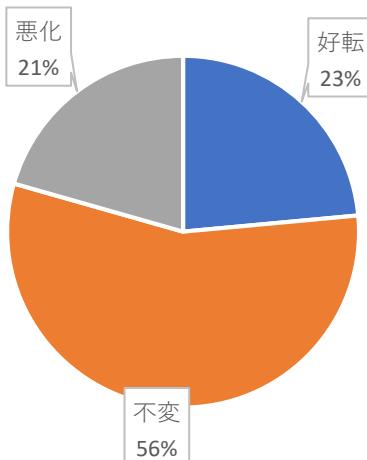
八女市商工会管内の売上高・完工工事高の来期の見通しは増加より減少が4ポイント上回り全体ではやや悪化が予測されている

資金繰り



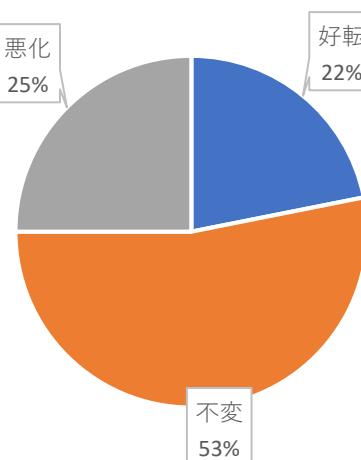
八女市商工会管内全体の資金繰りの来期見通しは好転より悪化が12ポイント上回り全体として悪化の予測を示している。

採算



八女市商工会管内全体の採算の来期見通しは好転が悪化より2ポイント上回っており全体としてやや改善の予測を示している。

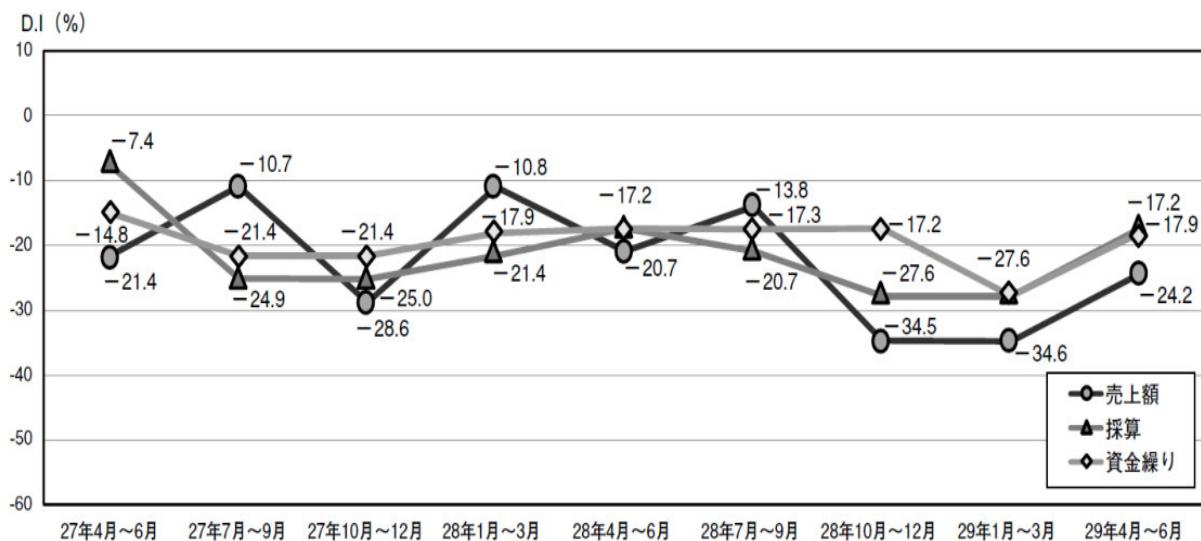
業況



八女市商工会管内全体の業況の来期見通しは好転より悪化が3ポイント上回っており全体としてやや悪化の予測を示している。

2. 製造業の主要景況項目の動向

○福岡県下の製造業のD.I値の推移

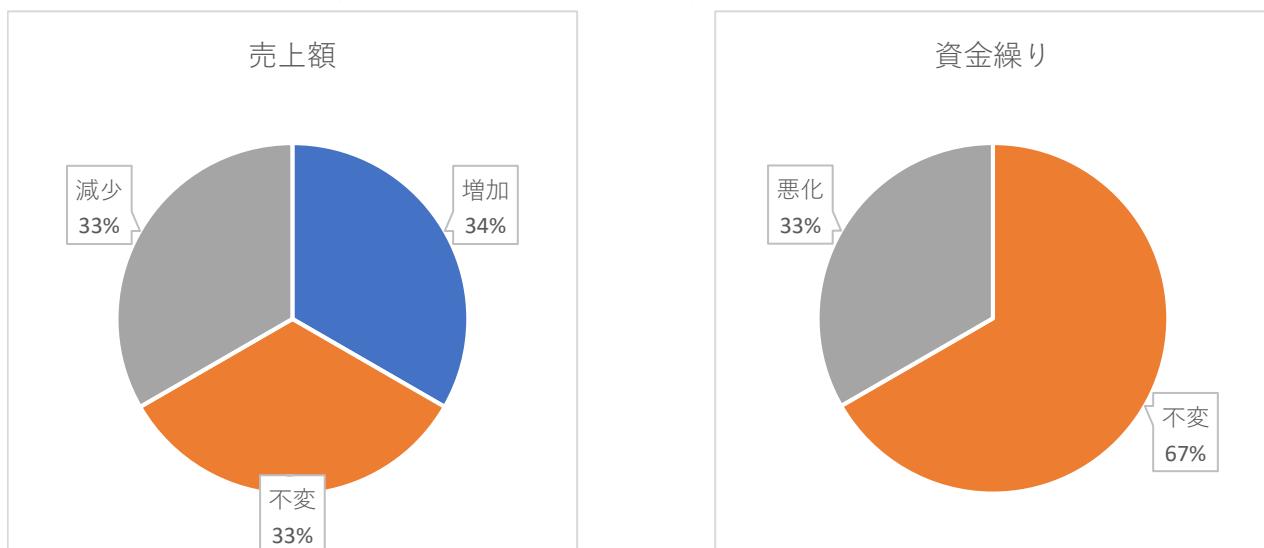


福岡県下の製造業の4月～6月におけるD.I値は、前年対比では、売上と資金繰りが悪化し採算が横ばいとなっている。

前期比では、いずれの指標のD.I値も改善傾向を示している。

いずれのD.I値も悪化傾向がとどまり改善に転じている。

○八女市商工会（製造業）H29年1月～6月の状況（前期比）

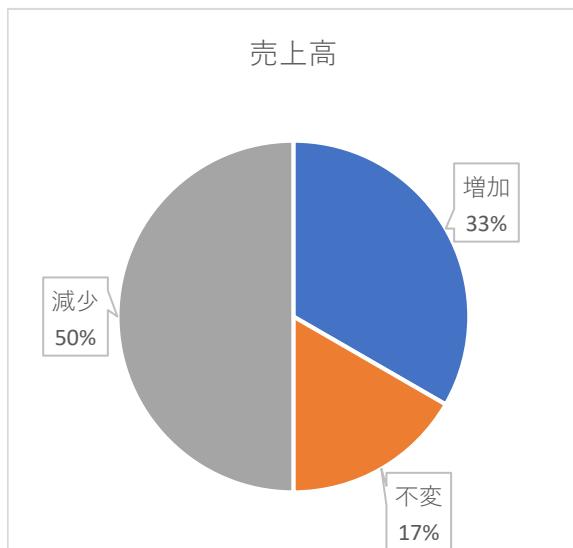


八女市商工会製造業における前期比との状況は、増加と減少が同程度の割合となっており県下の傾向ほどは改善の強さは見られない状況と言える。

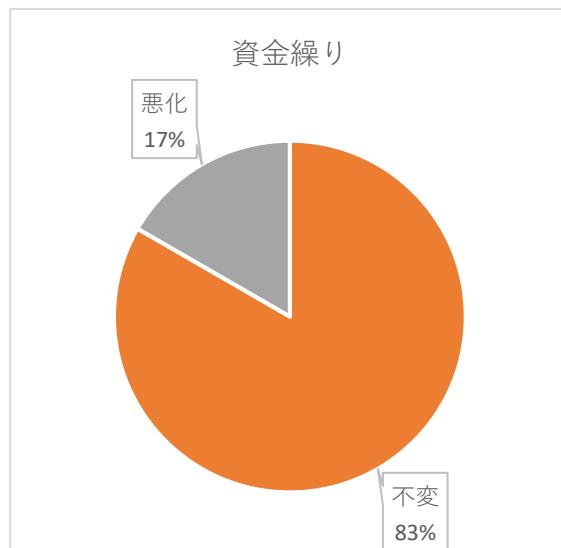
資金繰りについては悪化傾向が前年比よりも強まっており好転の要因が引き続き見られない。県下の傾向とも異なっている。

製造業

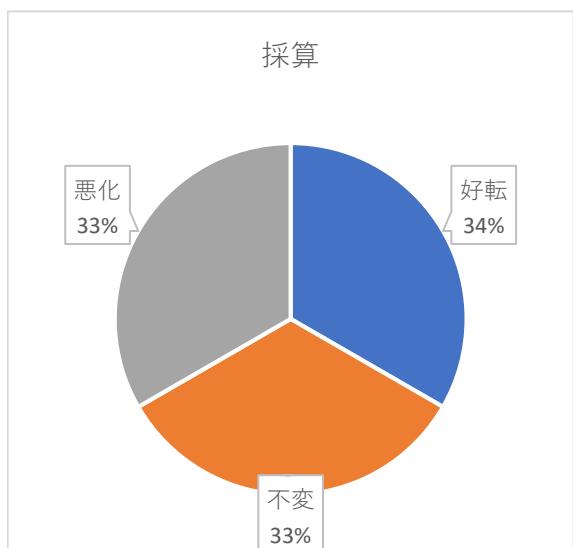
○八女市商工会（製造業）H29年1月～6月の状況（前年同期比）



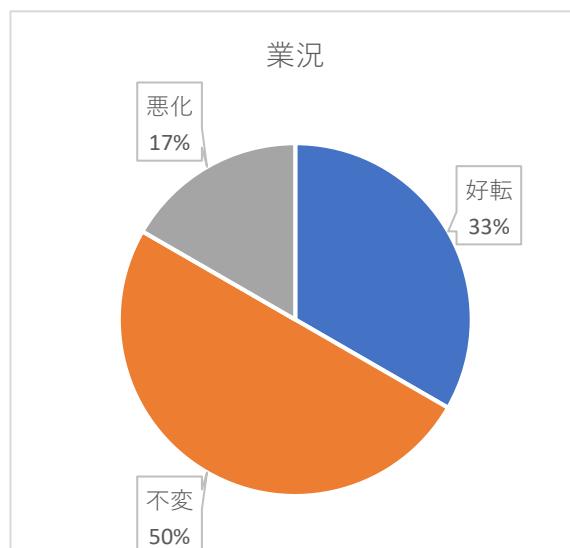
八女市商工会製造業における前年同期比の状況は増加の割合よりも減少の割合が大きく全般的に売上高は悪化傾向にあり県下の傾向と同様と言える。



資金繰りについては好転傾向が見られず悪化傾向が17%を占め全般的に悪化傾向にあるとみられる。県下の傾向と同様と言える。



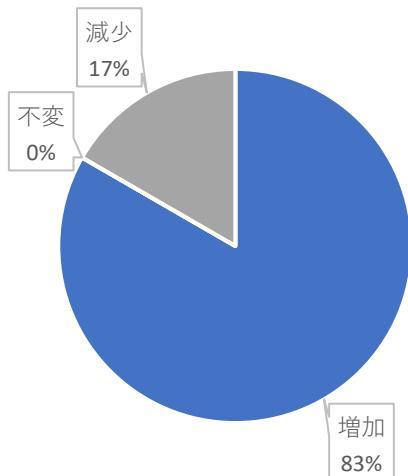
採算については好転と悪化が同程度の割合となっており全般的には横ばいとも見られるが二極化傾向があるともいえる。概ね県下の傾向と同程度と見られる。



ただし、業況としては好転の割合が高く、全般的に採算が後押ししている要因と見られる。

○八女市商工会（製造業）の来期の見通し

売上高



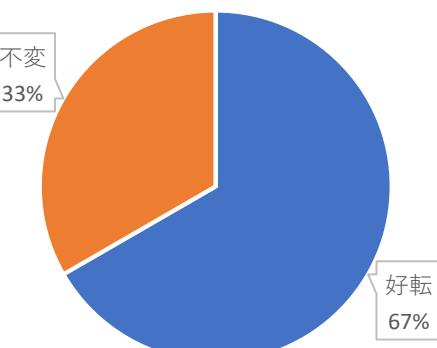
八女市商工会製造業における来期売上の見通しは増加が80%を超えており大きく改善する見込みとなっている。

資金繩



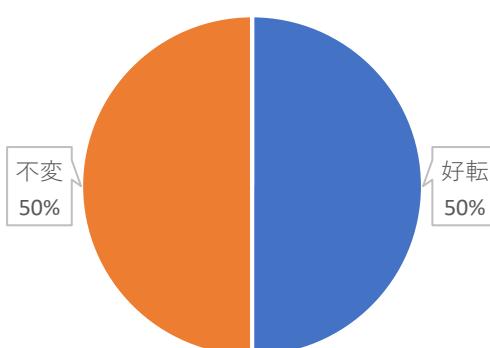
資金繩りについては好転が見られ悪化と同程度であることから現状からあまり変わらない見通しであると考えられる。

採算



採算については好転が70%近くに拡大し悪化が見られないため大きく改善することが予測される。

業況



業況については売上高と採算が改善の見込みとなるため好転する割合が50%で悪化が見られないため改善が期待できる

設備投資の動向

○福岡県下の製造業の設備投資の動向

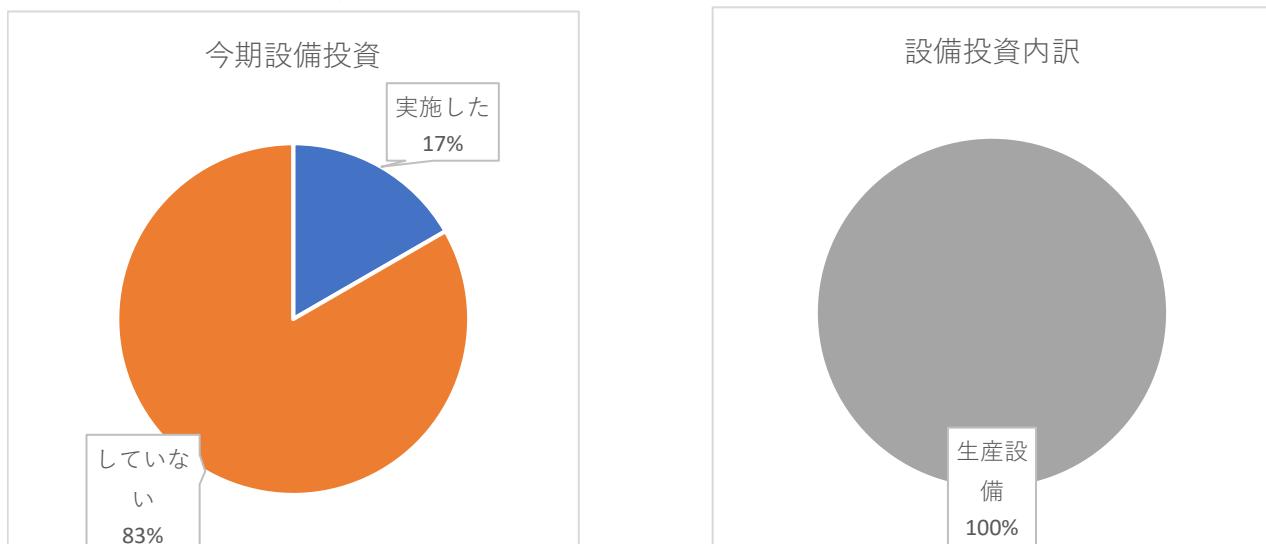
区分	(%、上段：実施、下段：計画)					
	28年 4月～6月	28年 7月～9月	28年 10月～12月	29年 1月～3月	29年 4月～6月	29年 7月～9月
実施した	17.2	17.2	17.2	17.2	24.1	
計画している	10.7	25.0	14.3	20.7	24.1	10.3
土地	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	
工場建物	0.0	40.0	20.0	20.0	42.9	
生産設備	40.0	40.0	60.0	20.0	28.6	
車両	100.0	57.1	100.0	100.0	100.0	66.7
運搬具	60.0	20.0	20.0	20.0	14.3	
付帯施設	0.0	42.9	25.0	33.3	28.6	33.3
OA機器	40.0	20.0	20.0	20.0	57.1	
福利厚生施設	0.0	14.3	0.0	33.3	14.3	0.0
その他	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	
計画していない	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
実施していない	82.8	82.8	82.8	82.8	75.9	
計画していない	89.3	75.0	85.7	79.3	75.9	89.7

福岡県下の製造業の設備投資の状況を見ると、今期は24.1%の事業者が設備投資を計画していたところ同程度の実施が見られた。

設備投資の内訳はOA機器が57.1%と最も高く、次いで工場建設、生産設備、車両・運搬具、付帯施設、福利厚生施設と多岐にわたっている。

来期は10.3%の事業者の計画が見込まれ今期よりは縮小傾向にある。

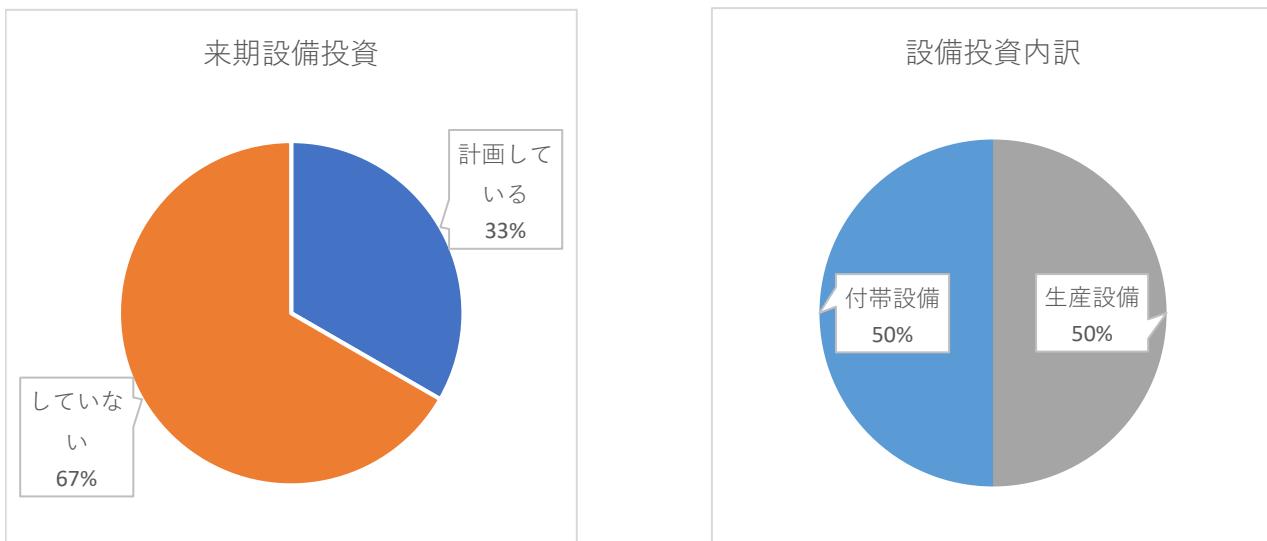
○八女市商工会（製造業）の設備投資の動向



八女市商工会製造業における設備投資の状況は、実施した割合が17%となっており福岡県下製造業の傾向より下回っている

今期の設備投資の内訳は生産設備を中心となっている。

製造業

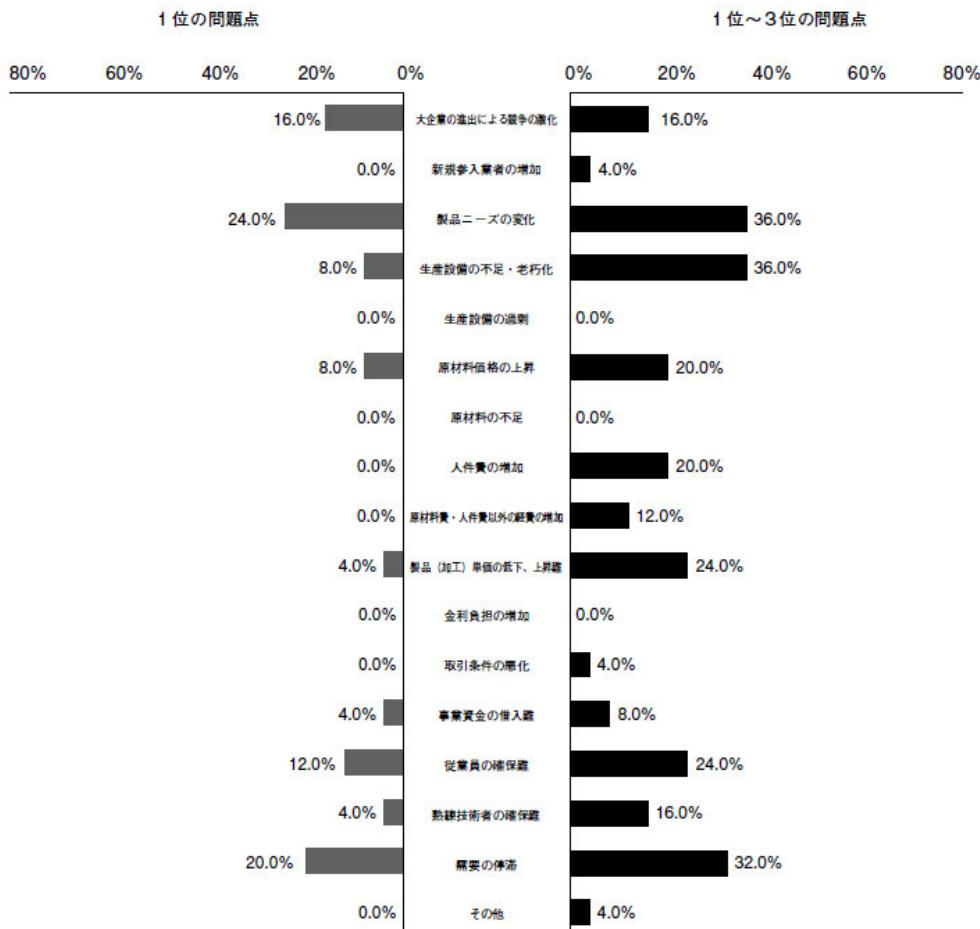


来期の設備投資は33%の事業者が計画しており拡大傾向にある。福岡県下の傾向を上回っている。

来期設備投資の内訳は付帯設備と生産設備がそれぞれ50%と計画されている。

現在抱えている問題点

○福岡県下の製造業が抱える問題点



福岡県下の製造業が抱えている1位の問題点は、製品ニーズの変化が24%で最も高く次いで、需要の停滞が20%、大企業の進出による競争の激化が16%と続いている。また1位から3位の問題点は、製品ニーズの変化、生産設備の不足・老朽化がそれぞれ36%と最も高くなっており需要の停滞が32%で続いている。

○八女市商工会（製造業）が抱える問題点



八女市商工会製造業における1位の問題は原材料の不足が最も高く、需要の停滞、従業員の確保難が続いている。



1位から3位の問題点は原材料の不足が最も高く、需要の停滞、技術者の確保難、従業員の確保難など多岐に及んでいる。

○八女市商工会（製造業）まとめ

○設備投資

- ・来期 → 拡大の見込み

○前期比

- ・売上高 → 横ばい傾向
- ・資金繰り → 悪化傾向

○来期見通し

- ・売上高 → 改善予測
- ・採算 → 改善予測
- ・資金繰り → 横ばい予測
- ・業況 → 横ばい予測

○前年比

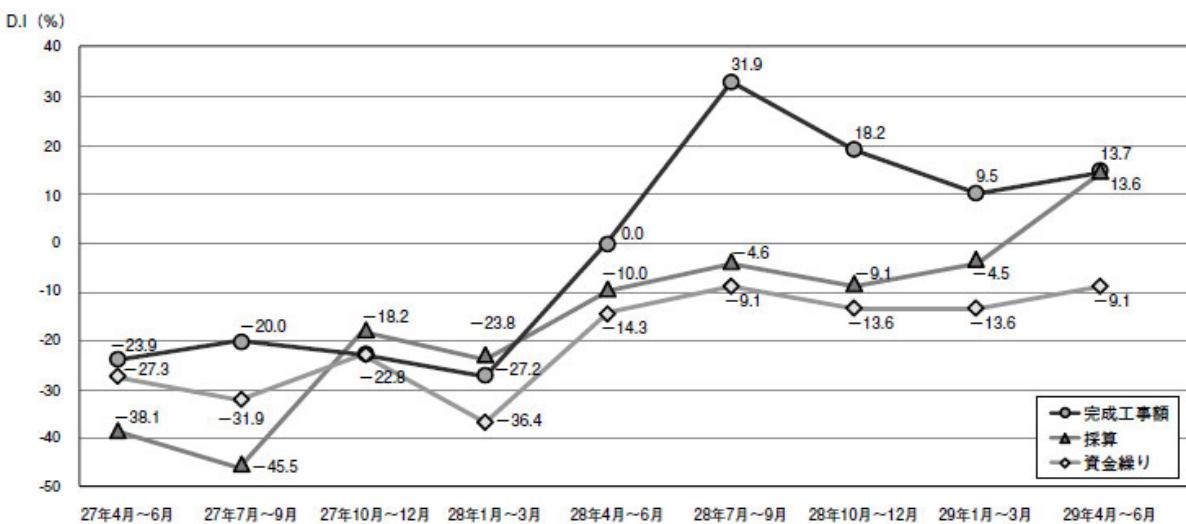
- ・売上高 → 改善傾向
- ・採算 → 改善傾向
- ・資金繰り → 横ばい傾向
- ・業況 → 改善傾向

○主な問題点

- ・原材料の不足
- ・需要の低迷
- ・従業員・技術者の確保難
- ・原材料価格の上昇

3. 建設業の主要景況項目の動向

○福岡県下の建設業のD.I値の推移

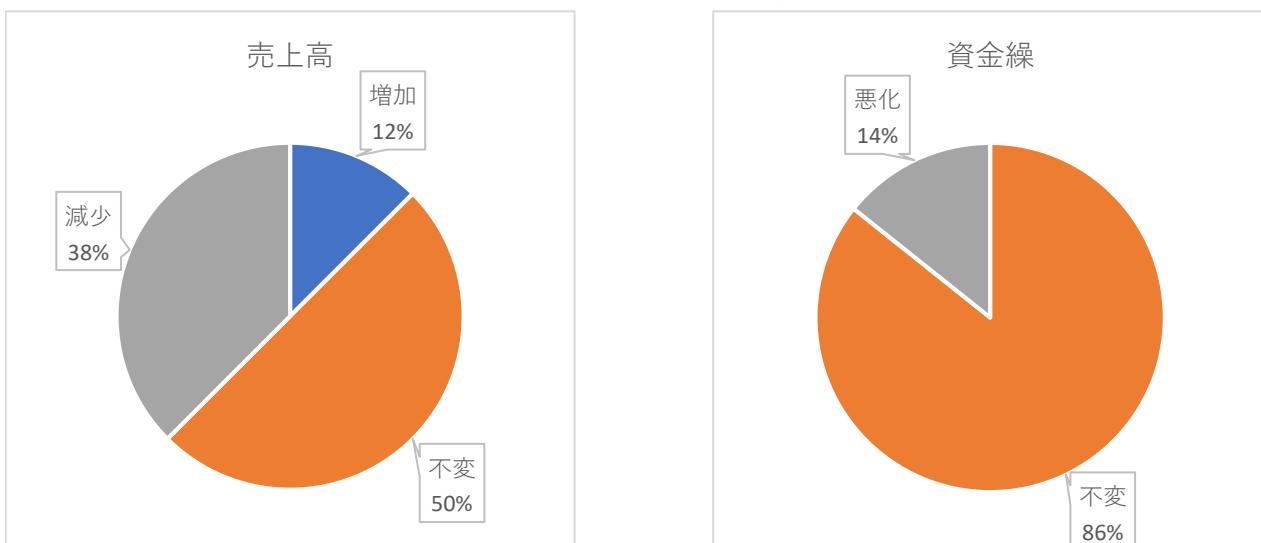


福岡県下の建設業の4月～6月におけるD.I値は、前年対比では、完成工事高、採算、資金繰りのそれぞれのD.I値が改善している。

前期比でも、各指標のD.I値が全て改善している。

完成工事高は3期続けて悪化傾向にあったが今期は改善した。採算、資金繰りはこの3期間で改善傾向を示していると言える。

○八女市商工会（建設業）H29年1月～6月の状況（前期比）



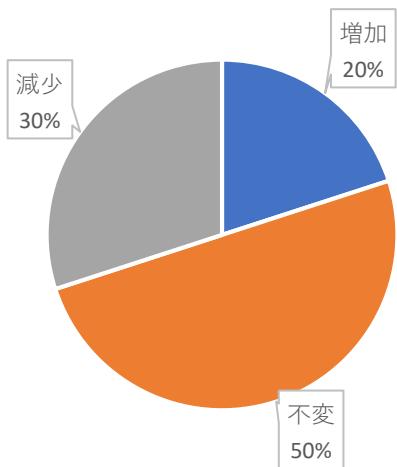
八女市商工会建設業における前期比の状況は増加よりも減少の割合が上回っている。福岡県下では改善傾向を示しているため傾向が異なると言える。

資金繰りについては好転傾向が見られず悪化傾向が14%を示している。そのため全般的には悪化傾向にあり県下の傾向と異なっている。

建設業

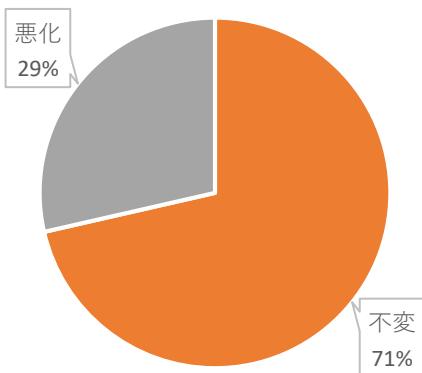
○八女市商工会（建設業）H29年1月～6月の状況（前年同期比）

完成工事高



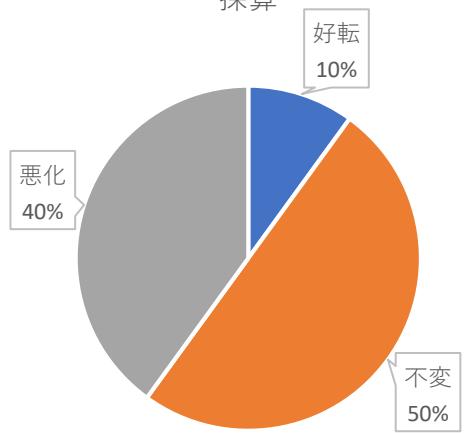
八女市商工会建設業における全円年同期比の状況は増加よりも減少の割合が高くなっている。福岡県下の傾向とは異なる傾向を示している。

資金繩



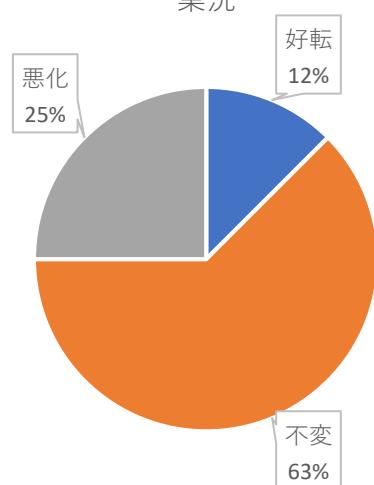
資金繩りについては悪化傾向の割合が30%近くを占めている。好転傾向が見られないため福岡県下の傾向とは異なる状況と言える。

採算



採算についても悪化傾向が好転傾向より大きく上回っている。採算も福岡県下の傾向と異なる状況と言える。

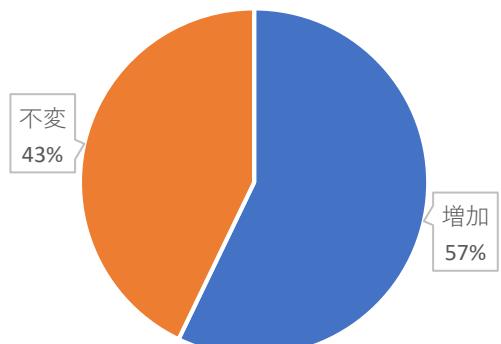
業況



業況については悪化が好転を上回っており、前年同期比の傾向として全般的に悪化傾向を示していると言える。

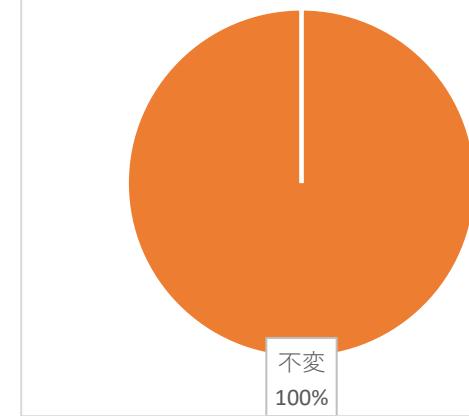
○八女市商工会（建設業）の来期の見通し

完成工事高



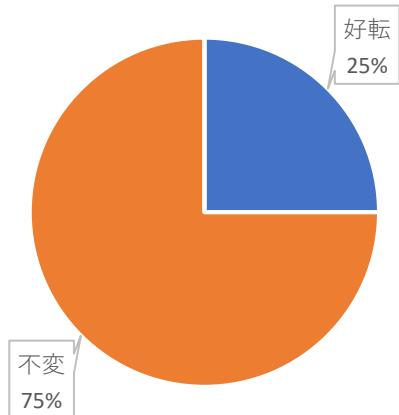
八女市商工会建設業の来期の完成工事高の見通しは減少が見当たらず増加が大きく拡大する予測となっている。

資金繩



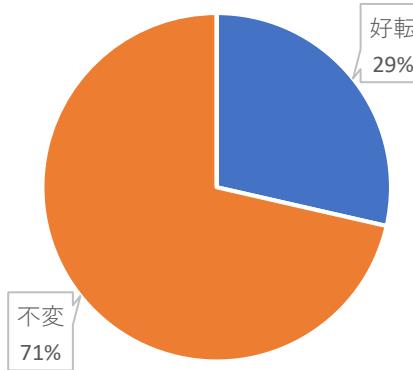
資金繩りについては不变の見通しとなっており現状と変わらないことが予測される。

採算



採算については好転が25%の割合を占め悪化が見当たらないため全般的に好転の見通しとなっている。

業況



完成工事高、採算が改善傾向を示していることもあり業況についても好転する予測が見込まれている。

設備投資の動向

○福岡県下の建設業の設備投資の動向

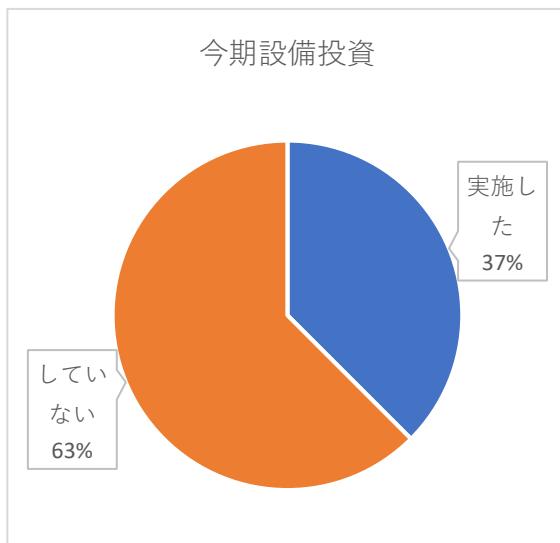
区分	(%、上段：実施、下段：計画)					
	28年 4月～6月	28年 7月～9月	28年 10月～12月	29年 1月～3月	29年 4月～6月	29年 7月～9月
実施した 計画している	4.5 0.0	4.5 14.3	9.1 4.8	9.1 4.5	18.2 4.5	22.7
土地	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	20.0
建物	0.0 0.0	0.0 0.0	50.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	20.0
建設機械	100.0 0.0	100.0 66.7	100.0 100.0	0.0 0.0	25.0 0.0	40.0
車両 運搬具	0.0 0.0	100.0 33.3	0.0 0.0	50.0 0.0	50.0 0.0	60.0
付帯施設	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 100.0	25.0 100.0	40.0
OA 機器	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	25.0 0.0	20.0
福利厚生 施 設	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0
その他	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	50.0 0.0	0.0 0.0	0.0
実施していない 計画していない	95.5 100.0	95.5 85.7	90.9 95.2	90.9 95.5	81.8 95.5	0.0 77.3

福岡県下のサービス業の設備投資の状況をみると、今期は4.5%の事業者が設備投資の計画をしていたが、実際は18.2%の事業者が実施しており計画を上回っている。

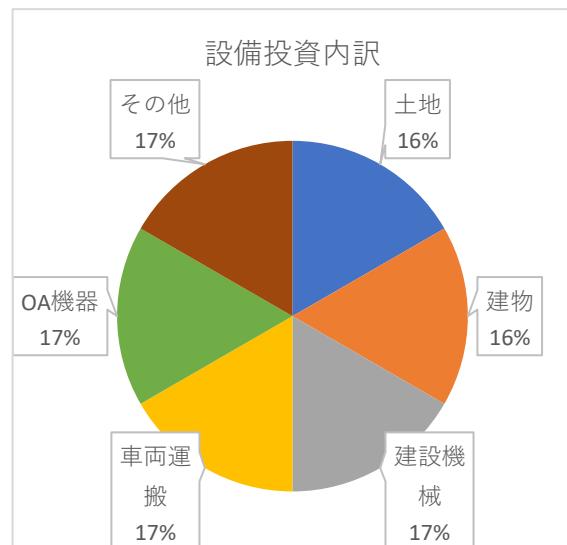
設備投資の内訳は車両運搬具が50%を占め、建設機械、付帯施設がそれぞれ25%を占めている。車両運搬具と建設機械は計画を上回っている。

来期は22.7%の事業者が計画をしており大きく増加している。内訳は車両運搬具を始めとし多岐にわたっている。

○八女市商工会（建設業）の設備投資の動向

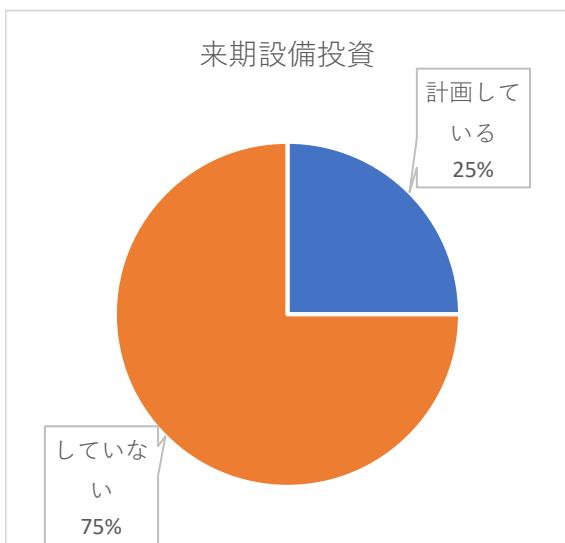


八女市商工会建設業における設備投資の状況は実施した割合が37%となっており福岡県下の建設業の割合よりも高い。

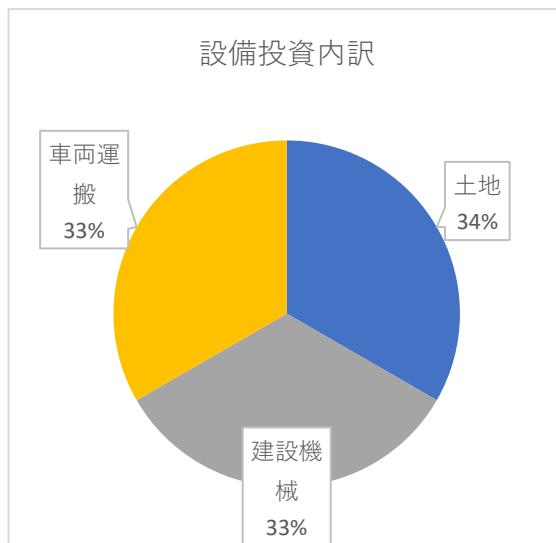


設備投資の内訳は車両運搬具や建設機械など多岐にわたっている。

建設業



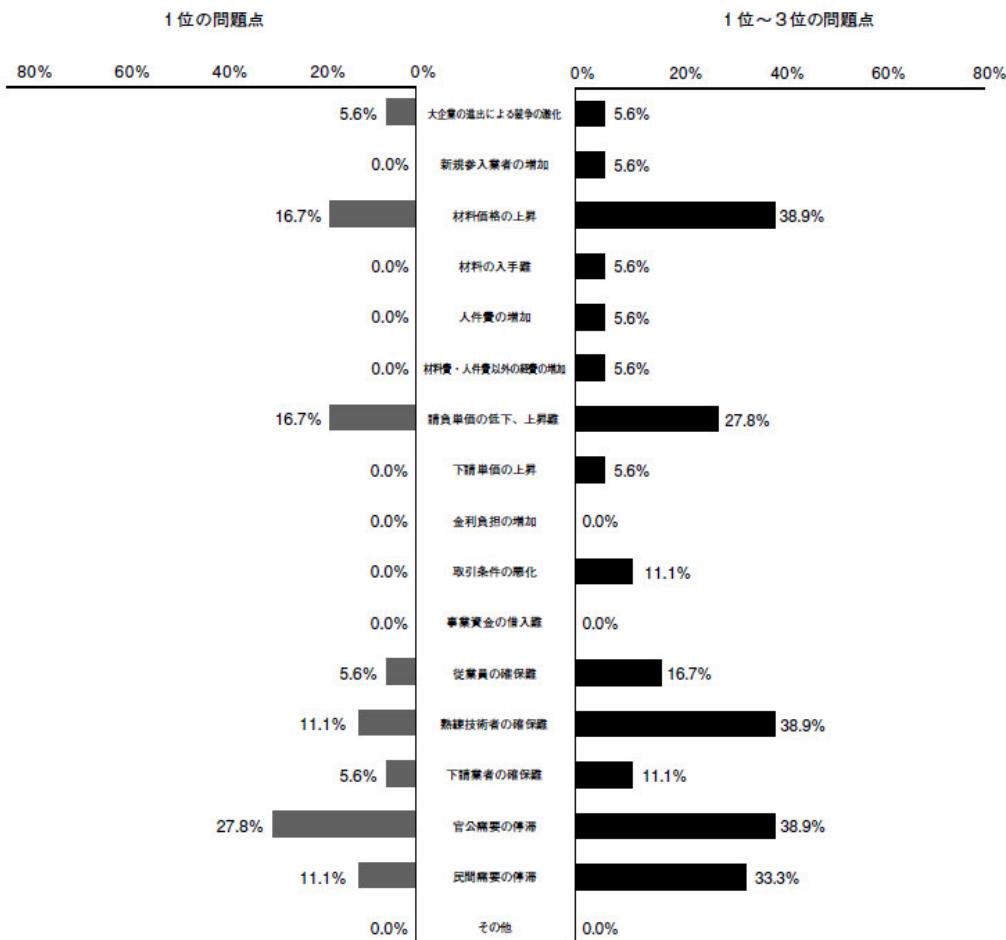
来期の設備投資は25%の事業者が計画をしている。福岡県下の水準と同等の割合と言える。



来期設備投資の内訳は、車両運搬具や土地、建設機械が計画されている。

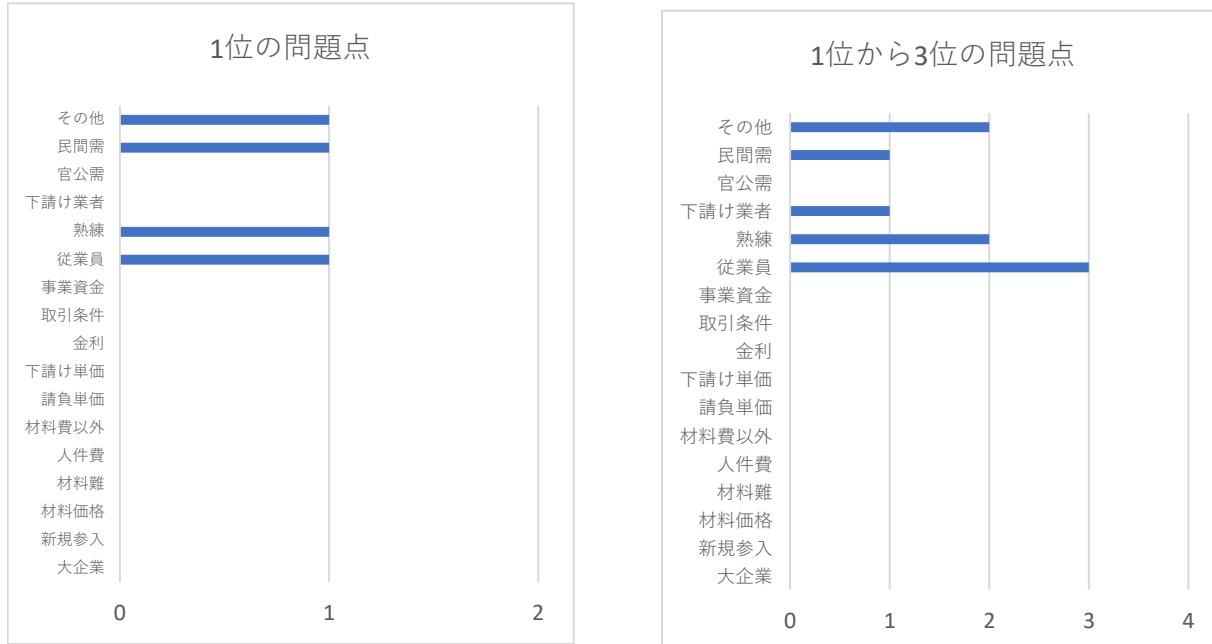
現在抱えている問題点

○福岡県下の建設業が抱える問題点



福岡県下の建設業が抱えている1位の問題は、官公需用の停滞が27.8%で最も高くなっています。次いで材料価格の上昇、請負単価の低下、上昇難が16.7%とそれぞれ続いている。また1位から3位の問題点として材料価格の上昇難、熟練技術者の確保難、官公需用の停滞がそれぞれ38.9%で最も高くなっています。技術者の問題は広く横たわっている可能性が高いと言える。

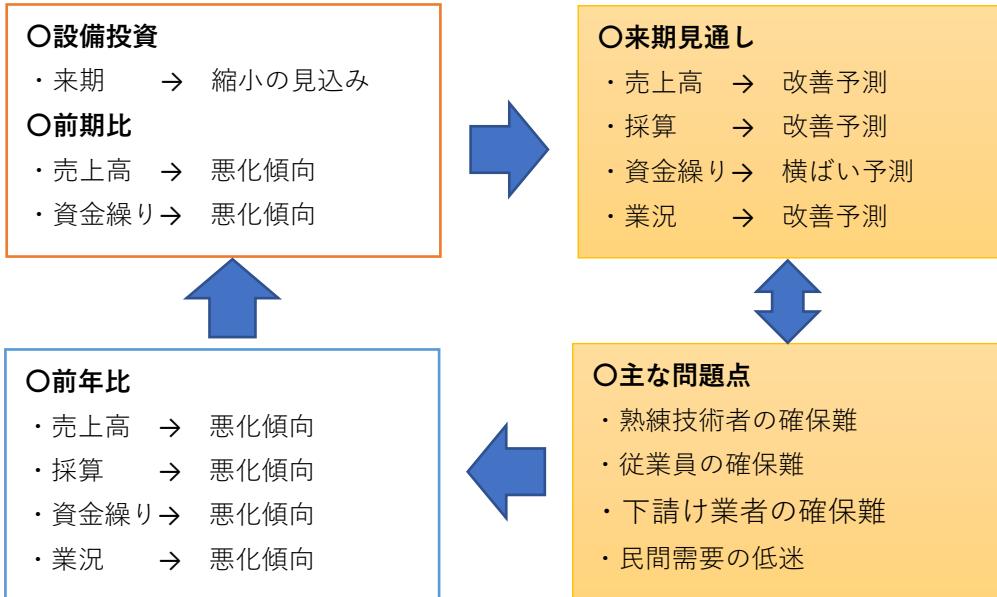
○八女市商工会（建設業）が抱える問題点



八女市商工会建設業における1位の問題は福岡県下の傾向同じく官公需用の停滞が見られ、熟練技術者の確保難、従業員の確保難が課題となっている。

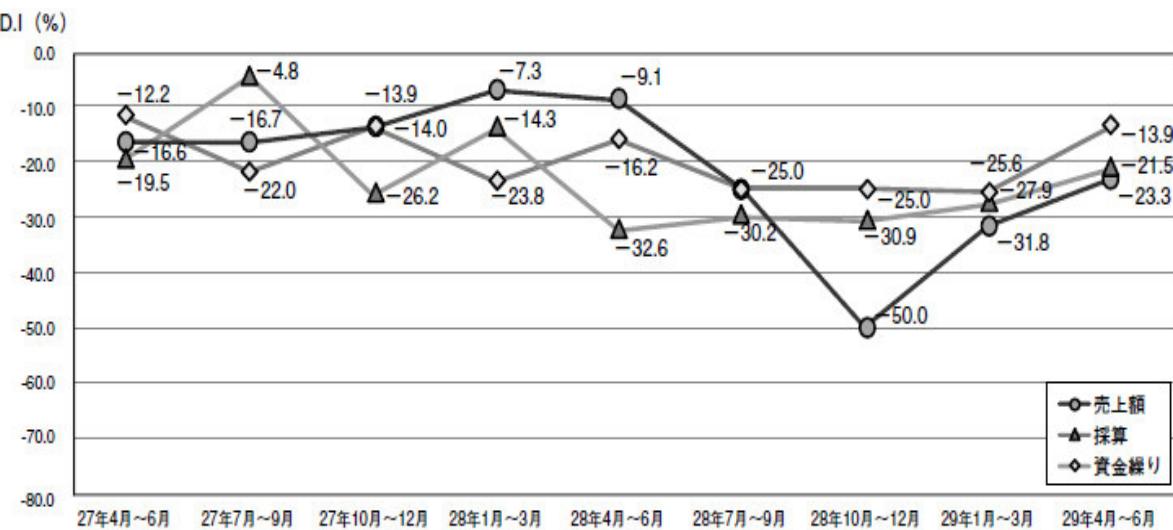
1位から3位の問題点では従業員の確保難、熟練技術者の確保難が上位に挙がっている。人材の課題が福岡県下と同様に広く横たわっていると考えられる。

○八女市商工会（建設業）まとめ



4. 小売業の主要景況項目の動向

○福岡県下の小売業のD.I値の推移

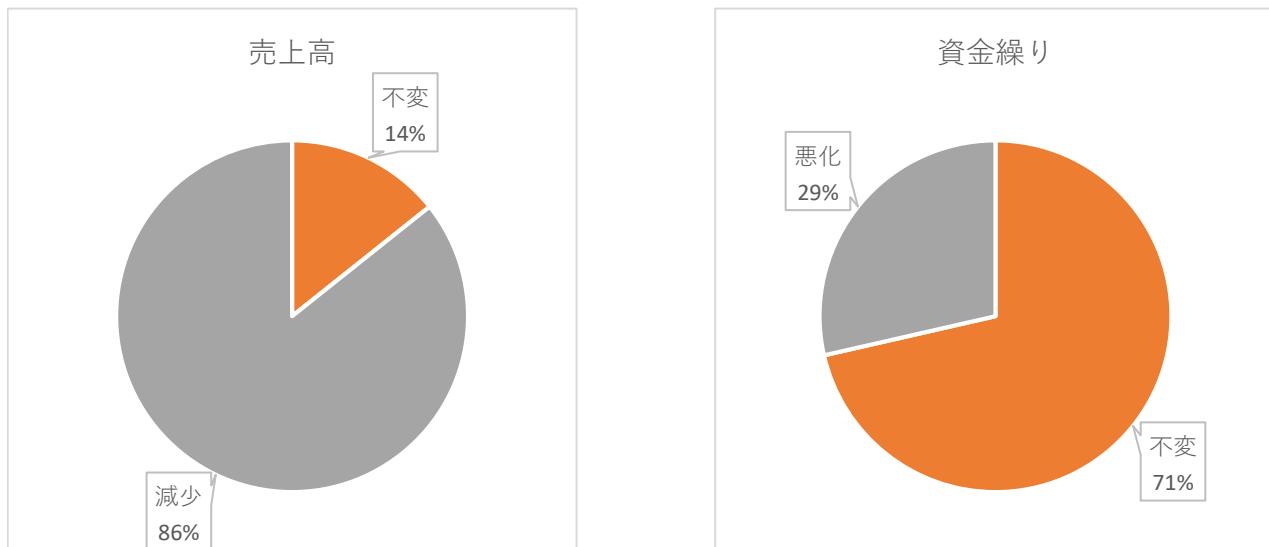


福岡県下の小売業の4月6月期におけるD.I値は、前年対比では、売上のD.I値が大きく悪化しており、採算と資金繰りのD.I値は改善傾向を示している。

前期比では売上、採算、資金繰りの全てのD.I値が改善傾向を示している。

売上のD.I値は前年同期より悪化しているものの直近の3期間において継続して改善傾向を示している。採算も4期間において改善傾向を示している。

○八女市商工会（小売業）H29年1月～6月の状況（前期比）

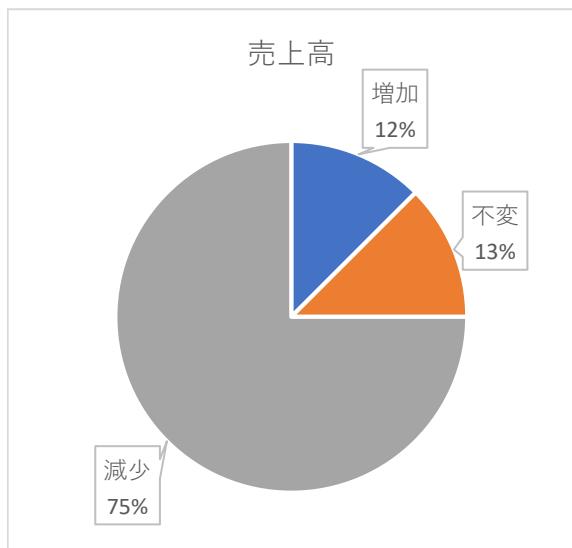


八女市商工会小売業における前期比の売上の状況は前年同期との比較より更に悪化傾向を示している。県下小売業は改善傾向を示しており対照的となっている。

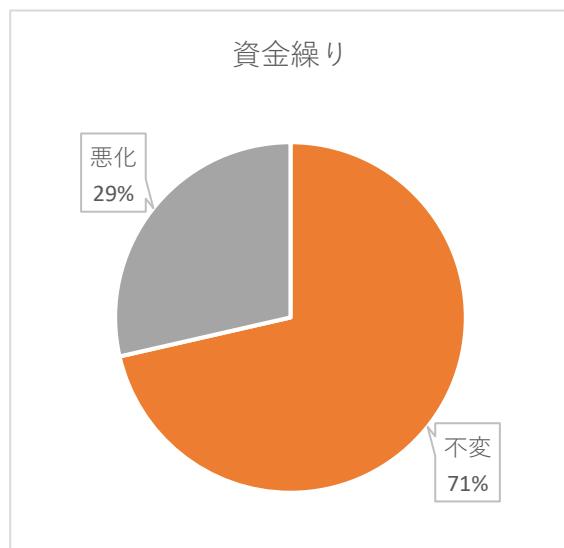
資金繰りについては引き続き好転が見られず厳しい状況が続いている。県下は改善傾向にあり対照的な傾向を示していると言える。

小売業

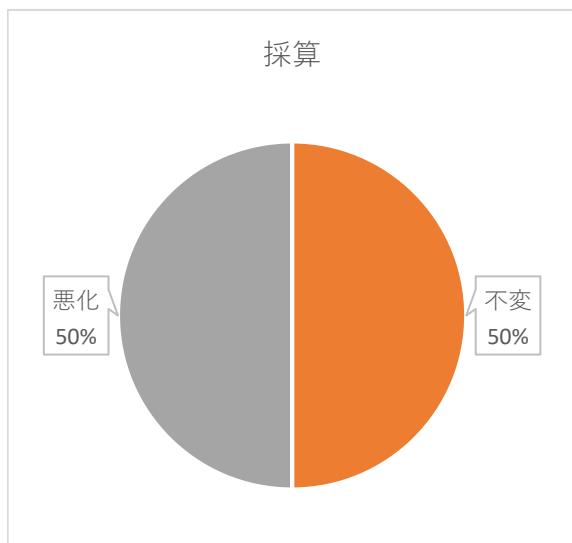
○八女市商工会（小売業）H29年1月～6月の状況（前年同期比）



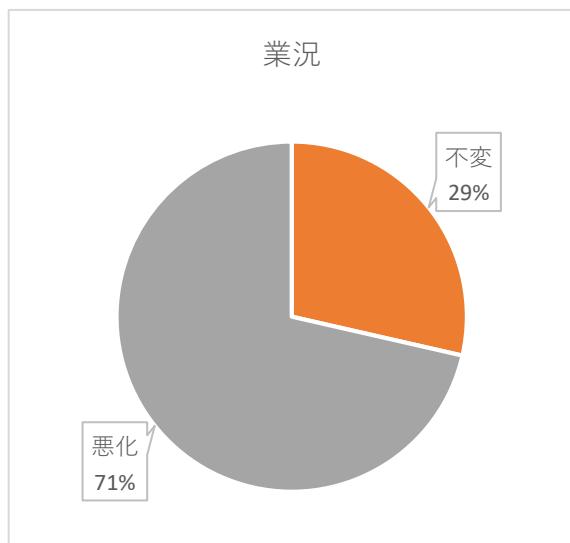
八女市商工会小売業における前年同期との売上の比較は75%が減少で悪化傾向を示しており県下と同じ傾向である。



資金繰りについては好転がみられず全体として悪化傾向を示している。県下は改善傾向を示しており傾向が異なる。



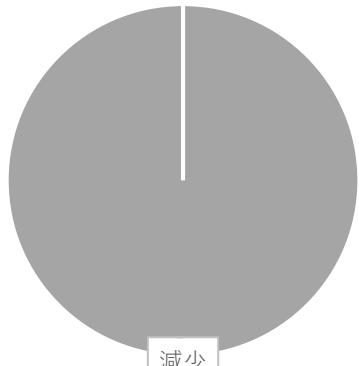
採算も悪化の傾向を示しており県下の小売業の傾向と異なっている。売上悪化が採算や資金繰りにも影響している



業況は悪化の割合が大きく八女商工会小売業としては前年と比較して悪化傾向にあると言える。

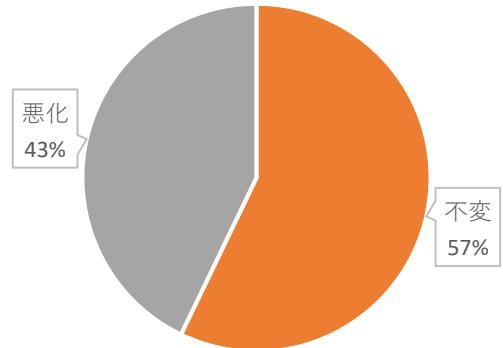
○八女市商工会（小売業）の来期の見通し

売上高



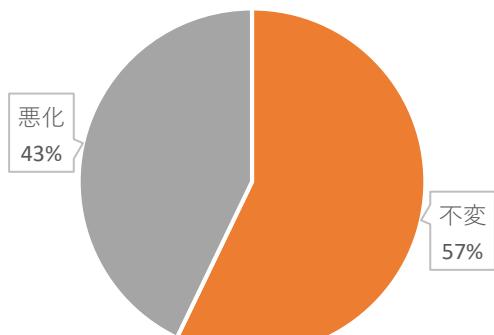
八女市商工会小売業に於いての来期の売上高の予測は100%減少の予測となっており厳しい見通しと言える。

資金繰り



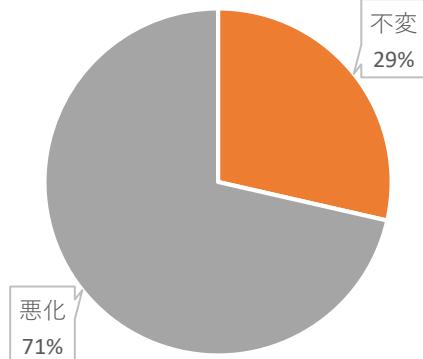
資金繰りについては40%以上が悪化の予測をなっており厳しい状況が続く見通しとなっている。

採算



採算も悪化見通しが43%となっており厳しい予測となっている。

業況



売上を初めとして、資金繰り、採算とすべての予測について悪化見通しとなっており業況も好転要素が見えず悪化の予測が高くなっている。

設備投資の動向

○福岡県下の小売業の設備投資の動向

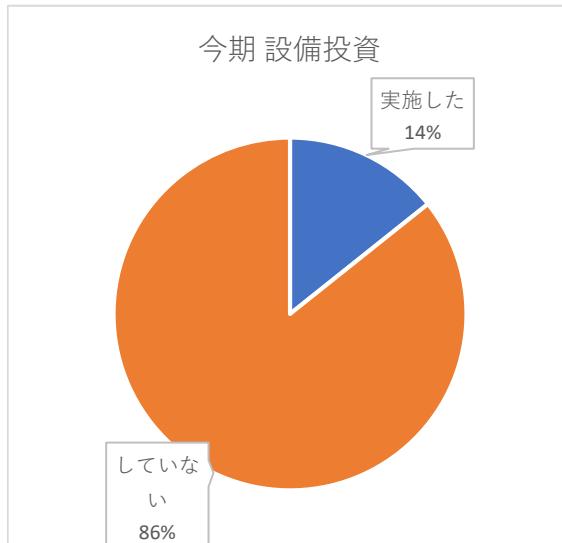
区分	(%, 上段: 実施、下段: 計画)					
	28年 4月~6月	28年 7月~9月	28年 10月~12月	29年 1月~3月	29年 4月~6月	29年 7月~9月
実施した 計画している	0.0	9.1	6.8	4.5	4.7	
	10.5	7.1	0.0	11.4	11.4	9.3
	土地	0.0	25.0	0.0	0.0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	店舗	0.0	25.0	66.7	0.0	50.0
		25.0	33.3	0.0	20.0	25.0
	販売設備	0.0	25.0	0.0	50.0	
		0.0	66.7	0.0	40.0	50.0
	車両 運搬具	0.0	0.0	0.0	50.0	
		50.0	0.0	20.0	0.0	0.0
付帯施設	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	
		25.0	0.0	0.0	20.0	0.0
OA 機器	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
		25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
福利厚生 施設	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	
		0.0	0.0	40.0	20.0	25.0
実施していない 計画していない	100.0	90.9	93.2	95.5	95.3	
	89.5	92.9	100.0	88.6	88.6	90.7

福岡県下の小売業の設備投資の状況を見ると、今期は11.4%の事業者が設備投資を計画していたが4.7%の事業者の設備投資にとどまり計画を下回っている。

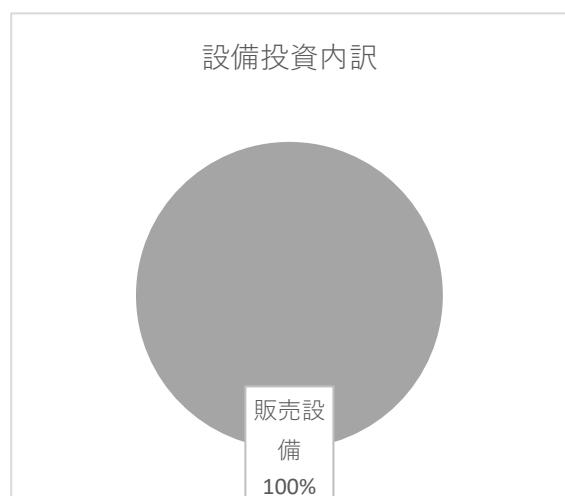
設備投資の内訳は店舗と車両・運搬具がそれぞれ50%となっている。

来期の設備投資については、9.3%の事業者が計画をしており今期の実績よりは上回るもの決して高い割合とは言えない。内訳は販売設備、店舗などとなっている。

○八女市商工会小売業の設備投資の動向

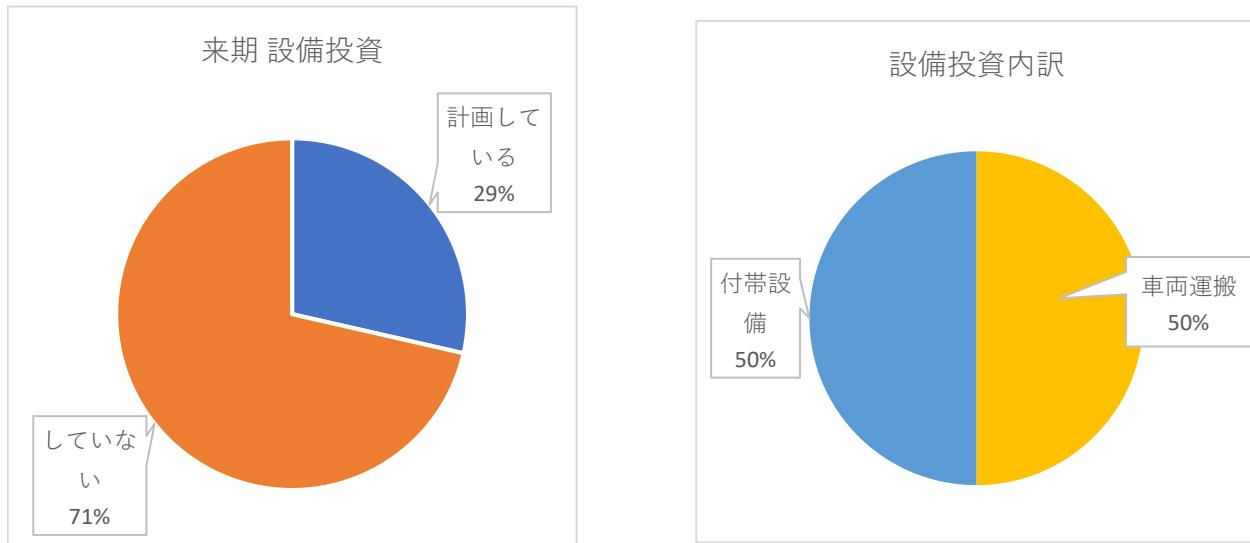


八女市商工会小売業における設備投資の状況は実施した割合が14%となっており件数も限定的な実施状況である。



設備投資の内訳は販売設備1件にとどまっている。

小売業

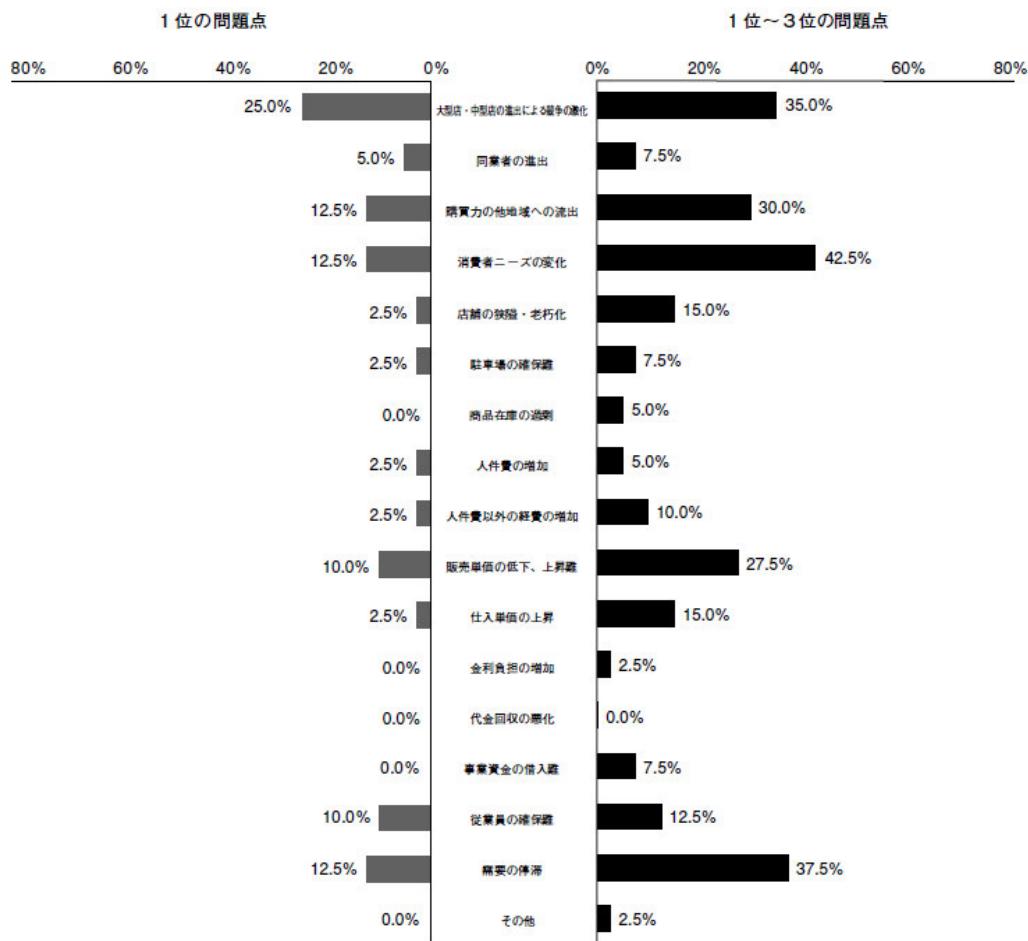


来期の設備投資の計画は29%の事業者が検討しており福岡県下の計画と同様に増加傾向を示している。

来期設備投資の内訳は、車両運搬具と付帯設備が計画されている。

現在抱えている問題点

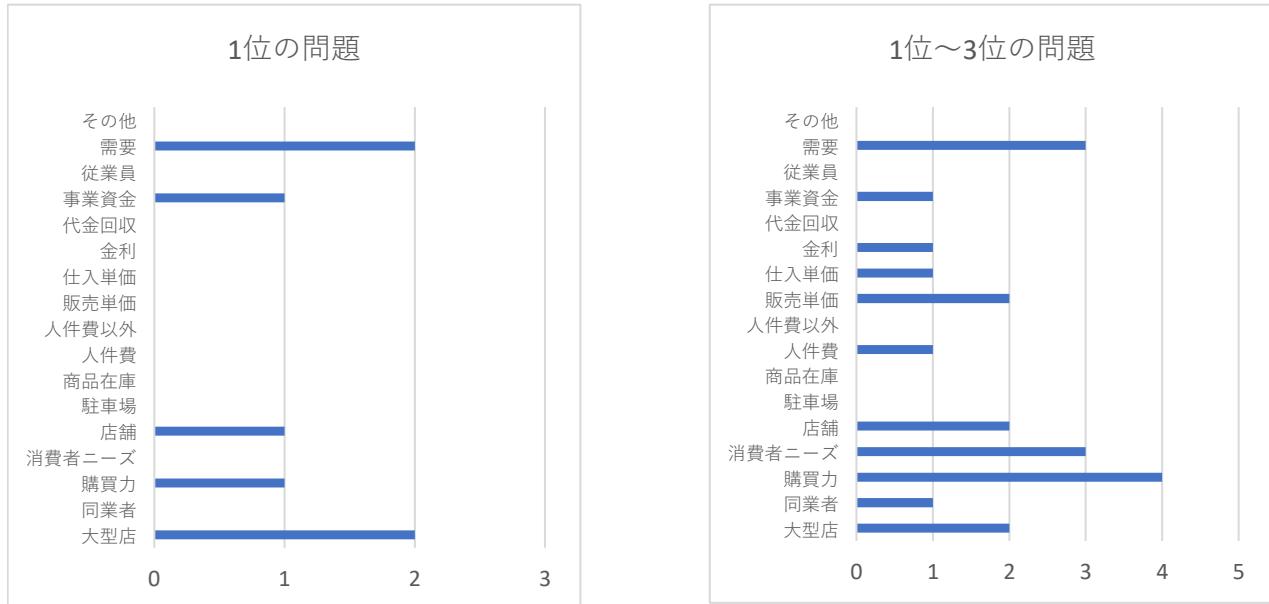
○福岡県下の小売業が抱える問題点



小売業

福岡県下の小売業が抱えている1位の問題点は、大型店・中型店の進出による競争激化が25%で最も高くなっています。次いで購買力の他地域への流出、消費者ニーズの変化が12・5%で高くなっています。また、1位から3位の問題点として、消費者ニーズの変化が42.5%ともっとも高くなっています。次いで需要の停滞が37.5%、大型店・中型店の進出による競争の激化が35%となっています。

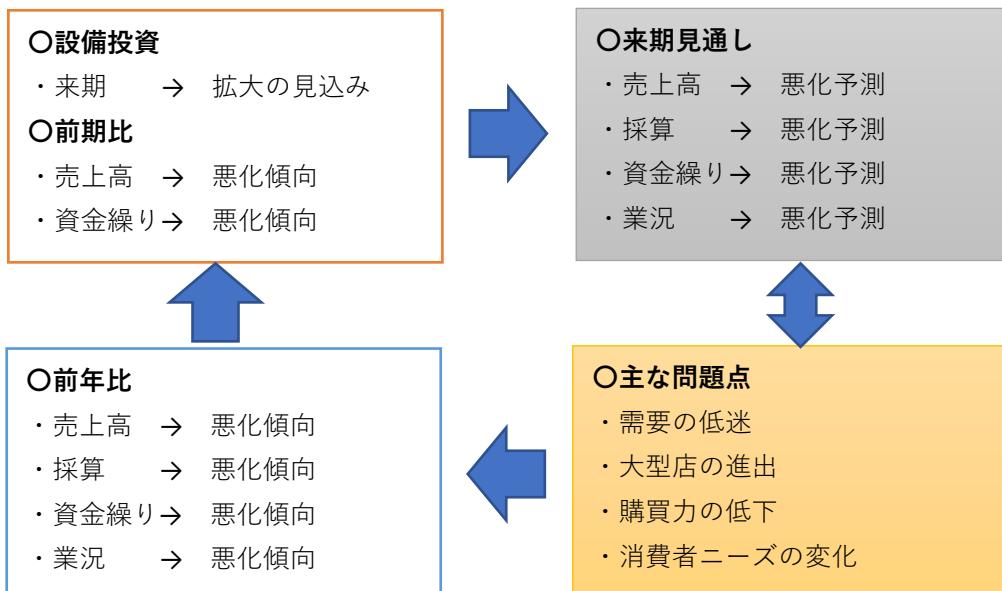
○八女市商工会小売業が抱える問題点



八女市商工会小売業における1位の問題は需要の低迷と大型店の進出が最も高くなっています。福岡県下の傾向と重なる部分があると言える。

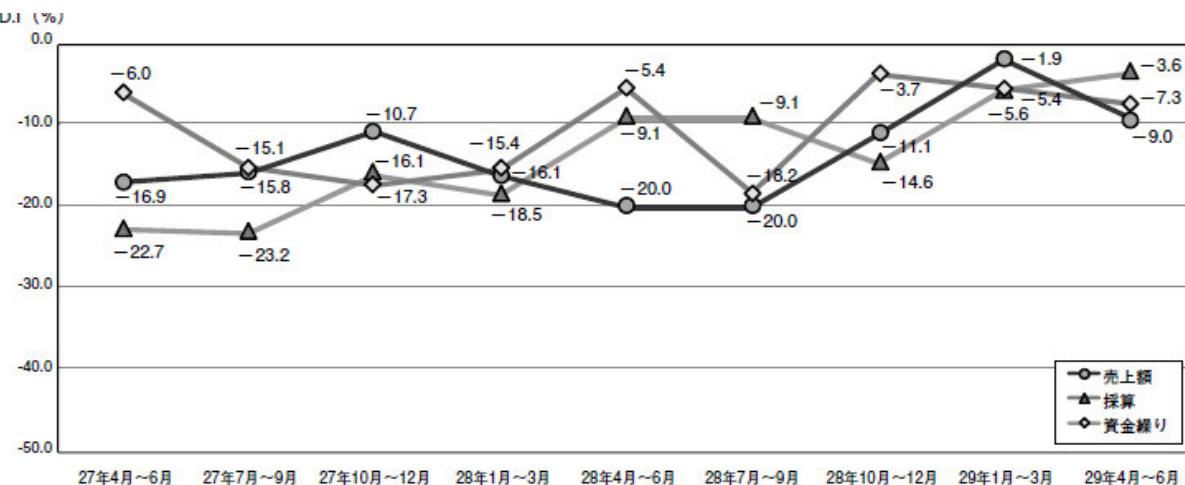
1位から3位の問題点においては購買力の低下が最も高く消費者ニーズの変化と需要の低迷が続いている福岡県下の傾向とも重なる部分が多いと言える。

○八女市商工会（小売業）まとめ



5. サービス業の主要景況項目の動向

○福岡県下のサービス業のD.I値の推移

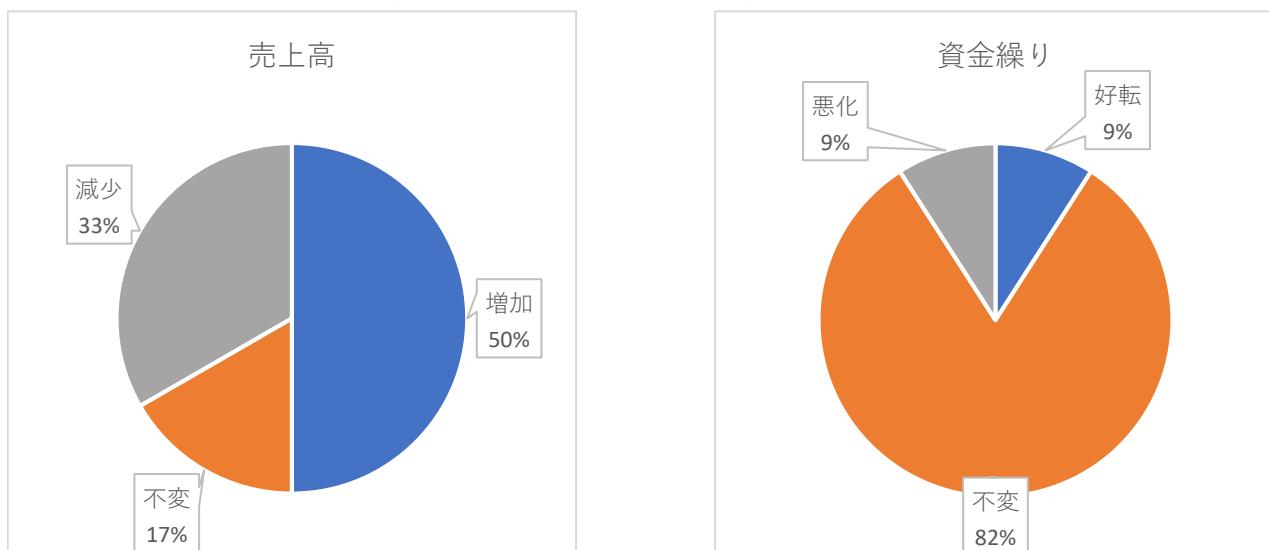


福岡県下のサービス業の4月～6月期におけるD.I値は、前年対比では、売上と採算のD.I値が改善しており、資金繰りのD.I値は悪化している。

前期比では、採算のD.I値は改善しているが、売上と資金繰りのD.I値は悪化している。

売上のD.I値は3期続けて改善してきたが今期は悪化した。採算のD.I値は3期連続で改善の傾向が続いている。資金繰りは3期連続で悪化傾向にある。

○八女市商工会（サービス業）H29年1月～6月の状況（前期比）

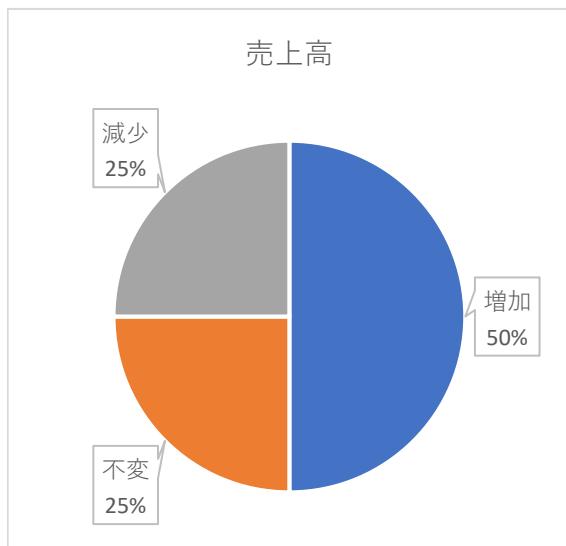


八女市商工会サービス業における前期比の状況は増加が50%を占め減少の33%を上回っている。福岡県下は悪化の傾向がみられるが八女市商工会サービス業においては前年同期比から好転と悪化とが二極化傾向が強まっているともいえる。

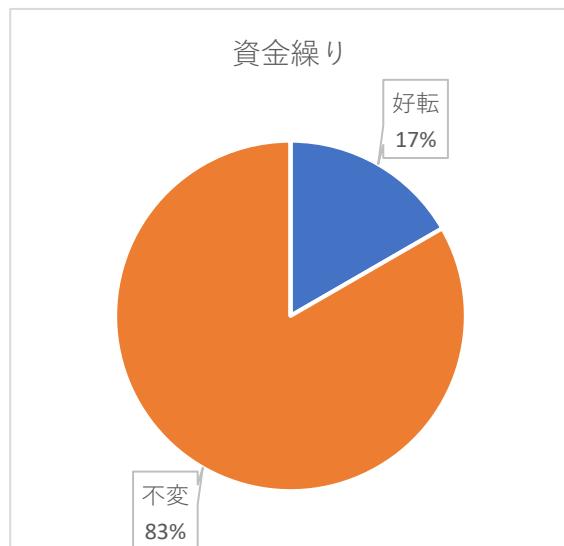
資金繰りについては好転、悪化の割合はどちらも低くほとんど不变の傾向を示しているものの前年同期から比較するとやや悪化傾向を示していると言える。福岡県下においても悪化の傾向を示しており同様の傾向を示していると言える

サービス業

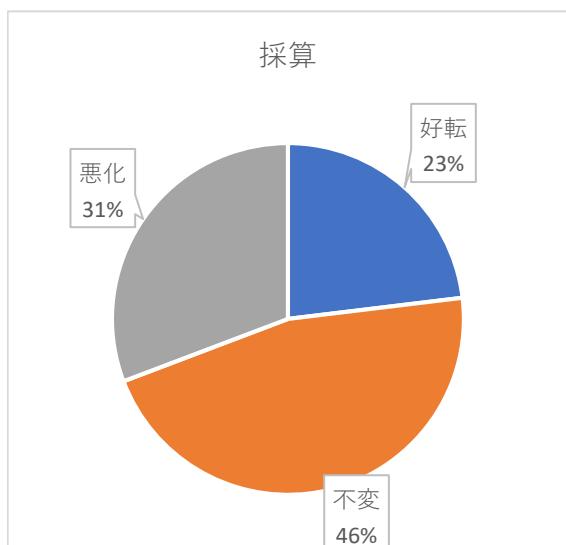
○八女市商工会（サービス業）H29年1月～6月の状況（前年同期比）



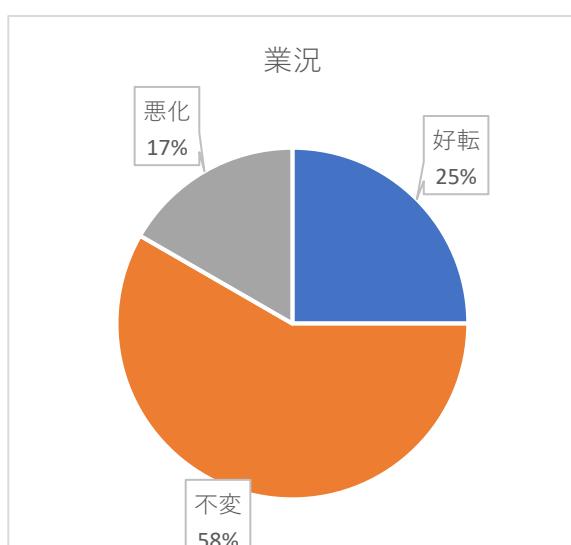
八女市商工会サービス業における前年同期比の状況は増加が50%を占め減少を大きく上回っている。福岡県下の傾向と同様の傾向を示している。



資金繰りについては好転が17%を占め他は不变であった。暗転傾向が見られないと全般的に好転の傾向を示していると言える。県の傾向と対照的である。



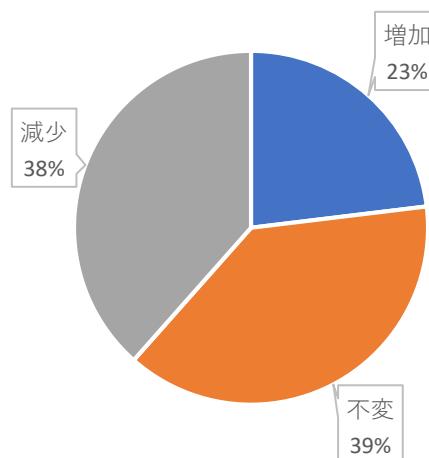
採算については好転より悪化の割合が8ポイントほど上回っており悪化の傾向が強いと言える。県は改善傾向を示しており対照的な傾向を示している。



業況については好転が悪化を上回っており八女市商工会のサービス業としては全般的に前年同期と比較した場合は改善傾向にあるといえる。

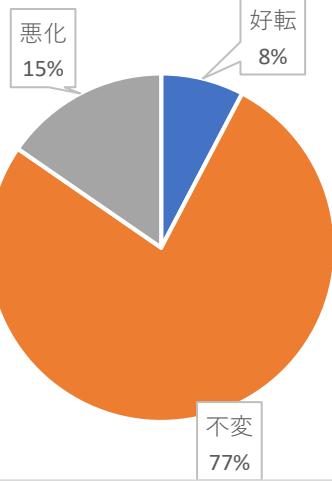
○八女市商工会（サービス業）の来期の見通し

売上高



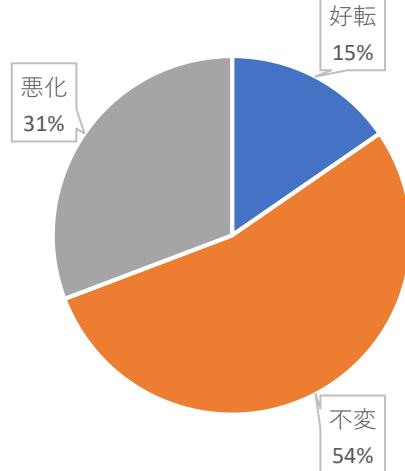
八女市商工会サービス業の来期の売上の見通しは減少が上回ており悪化の予測が見込まれる。

資金繰り



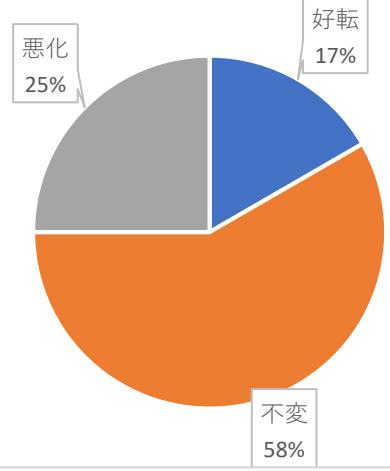
資金繰りについては不变の割合が高いが悪化の割合が好転の割合を上回っており悪化の予測が見込まれる。

採算



採算についても悪化の見込みの割合が高くなってしまっており今期の割合よりも悪化が拡大すると見られている。

業況



売上、資金繰り、採算のいずれも来期の悪化が予測されており業況の悪化予測につながっている。早めの対策が必要であると言える。

設備投資の動向

○福岡県下のサービス業の設備投資の動向

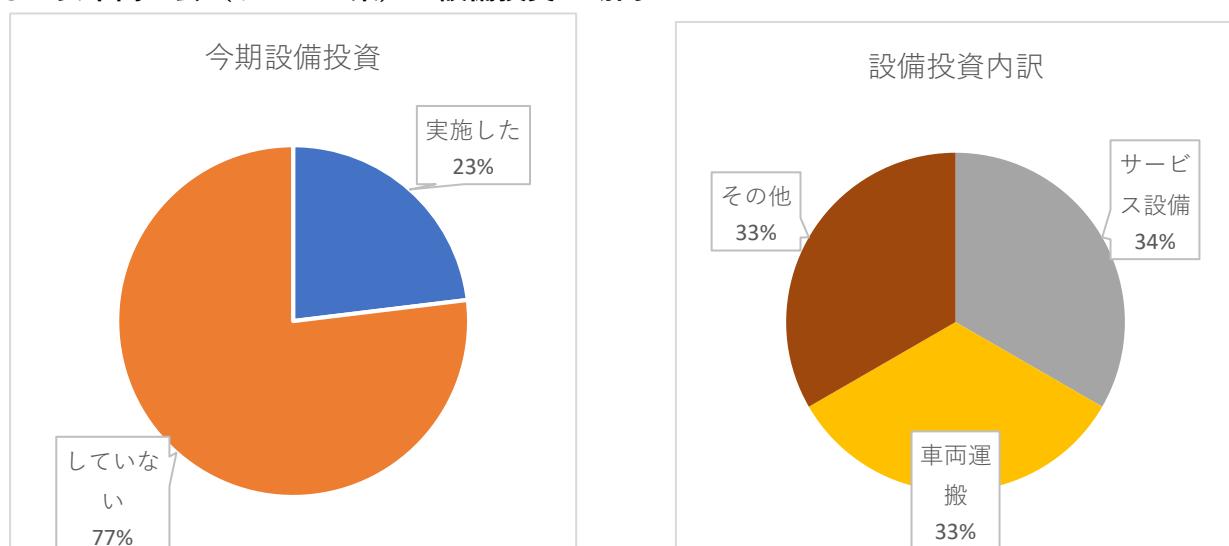
区分	(%、上段：実施、下段：計画)					
	28年 4月～6月	28年 7月～9月	28年 10月～12月	29年 1月～3月	29年 4月～6月	29年 7月～9月
実施した 計画している	9.1 14.3	9.3 17.3	14.5 13.2	5.5 16.4	12.5 5.5	17.9
土地	0.0 0.0	0.0 11.1	0.0 14.3	0.0 11.1	28.6 0.0	0.0
建物	20.0 37.5	20.0 33.3	25.0 57.1	0.0 33.3	28.6 33.3	20.0
サービス	20.0 25.0	0.0 33.3	25.0 28.6	0.0 33.3	14.3 0.0	30.0
車両 運搬具	0.0 25.0	40.0 33.3	12.5 28.6	33.3 33.3	42.9 33.3	10.0
付帯施設	60.0 25.0	20.0 0.0	25.0 0.0	0.0 11.1	14.3 33.3	10.0
OA 機器	0.0 12.5	20.0 0.0	0.0 0.0	66.7 22.2	0.0 0.0	10.0
福利厚生 施設	0.0 0.0	0.0 11.1	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	10.0
その他	20.0 12.5	0.0 11.1	25.0 0.0	33.3 22.2	14.3 33.3	10.0
実施していない 計画していない	90.9 85.7	90.7 82.7	85.5 86.8	94.5 83.6	87.5 94.5	82.1

福岡県下のサービス業の設備投資の状況をみると、今期は5.5%の異業者が設備投資を計画していたが、実際には12.5%の事業者が設備投資を実施しており計画を上回っている。

設備投資の内訳は車両・運搬具が42.9%と最も高く、次いで土地、建物が28.6%、サービス付帯施設、その他が14.3%と続いている。計画を上回ったのは車両・運搬具、土地、サービスとなっている。

来期は17.9%の事業者が計画しており今期を上回っている。内訳はサービス、建物、車両・運搬具など多岐にわかつている。

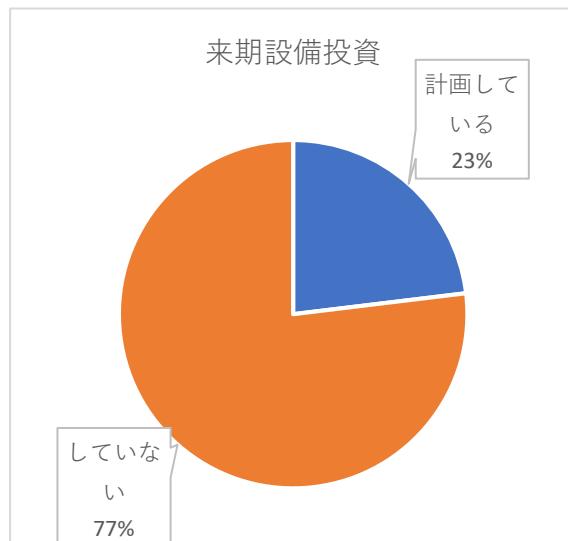
○八女市商工会（サービス業）の設備投資の動向



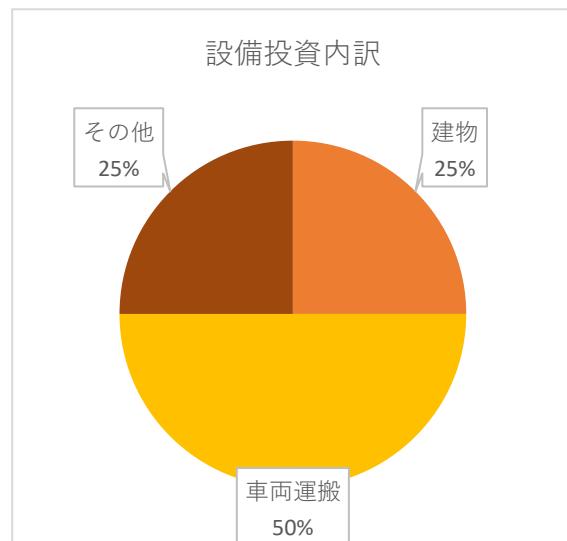
八女市商工会サービス業における設備投資の状況は実施した割合が23%となっており福岡県下の割合より高くなっている

設備投資の内訳は車両・運搬具とサービス設備、その他となっている。

サービス業



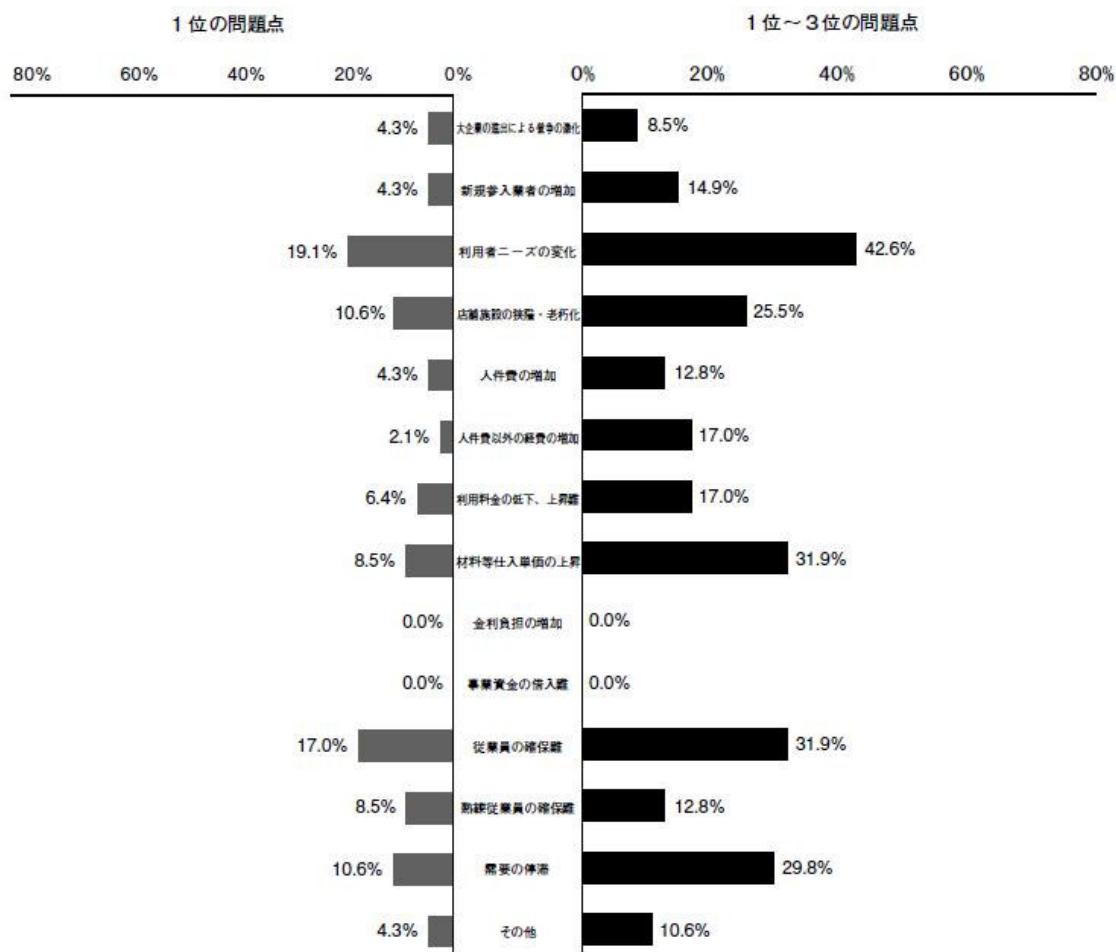
来期の設備投資は23%の事業者が計画しており福岡県下の割合と比較して引き続き高くなっている。



来期設備投資の内訳は、車両運搬具や建物などが計画されている。

現在抱えている問題点

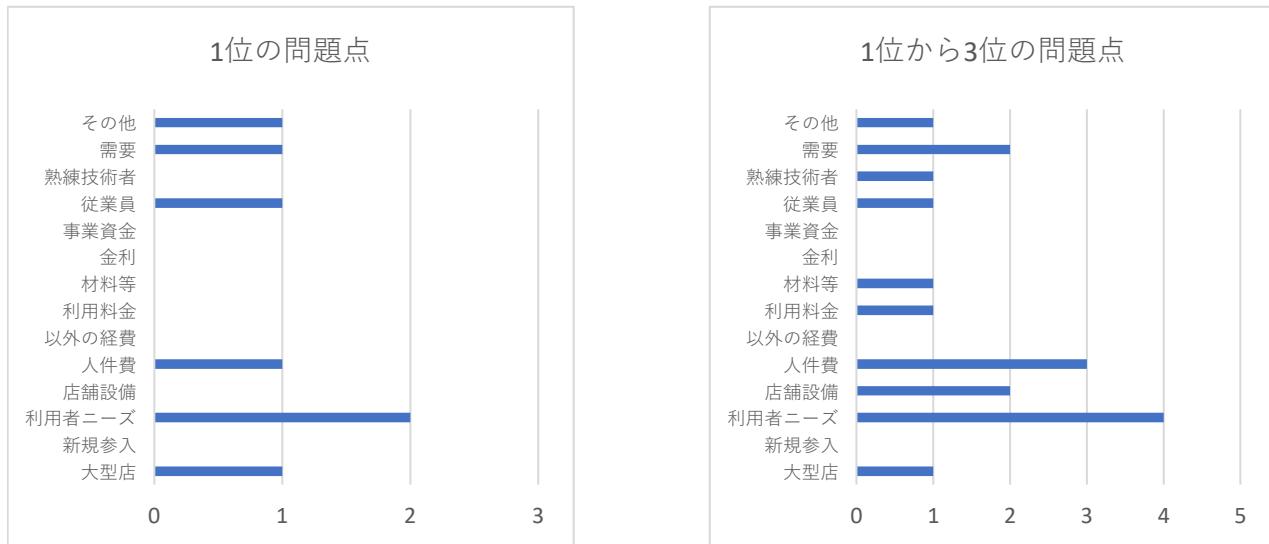
○福岡県下のサービス業の抱える問題点



サービス業

福岡県下のサービス業が抱えている1位の問題点は、利用者ニーズの変化が19.1%で最も高くなっている。次いで従業員の確保難が17%、店舗施設の狭隘、老朽化と需要の停滞が10.6%となっている。また、1位から3位の問題点として、利用者ニーズの変化が42.6%と最も高くなっている。次いで材料等仕入価格の状況と従業員の確保難が31.9%、需要の停滞が29.8%となっている。利用者ニーズや雇用環境の変化への対応に苦慮している状況があると言える。

○八女市商工会（サービス業）の抱える問題点



八女市商工会サービス業における1位の問題は利用者ニーズが最も高くなっているが、福岡県下のサービス業と同じ傾向を示している。

1位から3位の問題点においては利用者ニーズの問題が同様に最も高く次いで人件費の問題、需要の低迷の割合が高くなっている。

○八女市商工会（サービス業）まとめ

